

第四十四回帝國議會
衆議院

特許法改正法律案外四件

特許法改正法律案
實用新案
商標法改正法律案
意匠法改正法律案
理士法案

委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正十年二月二十六日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

島田 俊雄君	今泉嘉一郎君	北井波治目君
松實喜代太君	野副 重一君	塚原 嘉藤君
福井 甚三君	矢野 丑乙君	木下十四三君
麓 純義君	宮崎三之助君	出口 直吉君
淺賀長兵衛君	鶴澤 宇八君	鈴木久次郎君
野村 嘉六君	清瀬 一郎君	森下龜太郎君

出席政府委員左ノ如シ

農商務次官

田中 隆三君

特許局長

宮内國太郎君

特許局事務官

馬場 穎一君

特許局事務官

中松 眞卿君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

特許法改正法律案

實用新案法改正法律案

意匠法改正法律案

商標法改正法律案

理士法案

○委員長(島田俊雄君) 是ヨリ開會致シマス

○淺賀長兵衛君 私ガ共通のニ質問セントスルコトハ、特許法案、實用新案法案、意匠法案、商標法案ヲ通ジマシテ

其登録セラレタル權利ノ存續期間ニ就テ御尋フ致シタイ、改正案ヲ見マス他ノ改正要點ニ就テハ、殆ド此四案ヲ通

ジテ共通のノ點ガ大分多イデアリマス、登録セラレタル各權利ノ存續期間ニ就テハ、特許法案ニ依リマス十五箇

年、特別ノ場合ニ於キマシテハ三年以上、十年以下ノ延長許可實用新案ニ就キマシテハ十年、意匠權ニ就テ十箇

年、商標權ニ就テ二十年、此中デ商標權ノ存續期間ニ就テハ姑ク之ヲ別ト致シマシテ、少クモ特許權、實用新案

權、意匠權ニ關シマシテハ、其存續期間ハ何ガ故ニ政府ニ於テハ此四案ヲ通ジテ大改正ノ際ニ、統一ノ考慮ヲ拂ハ

ナカッタカ、御承知ノ通りニ發明權、實用新案權、意匠權ノ如キハ、人ノ智能ヨリ生ズル所ノモノト云フ點ニ就テハ、何

レモ同じ性質ノモノナルヲ以テ、當然此期間ノ統一ヲ圖ルコトガ必要デハナイカ、此點ニ就テノ政府ノ御所見ヲ伺ヒタ

○田中政府委員 此特許、意匠、其他色モノノニ就キマシテノ期間ノ御尋ノヤウニ承知致シマシタガ、是ハ先ヅ見ヤ

ウニ依ッテ色モノヲラウト思ヒマスケレドモ、大體工業所有權ニ關スル中デ、特許發明ガ一番重要イモノデアリ云フ前提

ヲ置イテ、ソレカラ各種類ノモノニ就テ、ホシノ目分量デ期間ノ基礎ヲ定メテ譯タラウト思フノデアリマス、ソレハ今日

新タニ定メル譯デハナイノデ、多年既ニ實行シ來タ法律ヲ本トシテ、矢張此度ソレヲ採タノデアリマシテ、ハッキリドウ

スウト云フノデモ何デモナイ、理窟ノアルモノデモナカラウト思ヒマスケレドモ、大體ハ權利ノ重味ト云フコトヲ土臺トシ

テ、等級ヲ立テソレガ多年皆ノ頭ニ滲込シ居ル期間デアリマスカラ、此度モソレニ依ッテ方ガ宜カラウト思ッタルデアリ

マス

○矢野丑乙君 私ノ質問シタイト思フ事ハ澤山アリマス

ガ、逐條ノ場合ニ讓ルコトガ多イデアリマスカラ、大部分ハ後ニ廻シマシテ、二點ダケヲ御尋致シマス、只今ノ御質問ノ

御答辯ニ關シテアリマスガ、成程勅令決定メテアリマス通リ、重要ナ發明ニシテ、期限ノ間ニ相當ノ利益ヲ舉ゲル事ノ

出來ナイ發明ニ對シテハ、三年以上十年ノ期間ヲ延シテヤル、斯ウ云フ事ハ一見シテ良イ事ノヤウデアリマスケレドモ、

私共ノ知ル所ニ依リマスルト、遺憾ナガラ良イ事トハ思ハレヌデアリマス、重要ナ發明デアルカナイカト云フ事ハ、大抵

ノ場合自分ノ發明ヲ重要ト思ッテ居ル場合ガ多イデスカラ、ソレハ別問題ト致シマシマシ、利益ヲ期間内ニ舉ゲルコト

ガ出來ナイカラ延スト云フハ、一應御尤デ居ルガ、併ナガラ期間ヲ延スモノ、實際ヲ考ヘテ見ルト、大ニ利益ヲ舉ゲテ

居ル者ガ、特許權ガ切レテハ甚ダ困ルカラト云フノデ、之ヲ延スト云フコトガ随分アルノデ、利益ノアルモノノ何カノ理

由ヲ附ケテ之ヲ延長シヤウトスル其間ニ、運動請托ト云フヤウナ事ガ往々アル、決シテ珍ラシイ例デハナイ、故ニ三年以

上十年ヲ延スト云フ事ハ甚ダ宜シクナイト思フ、實際ニ於テ弊害ガアルト思ヒマスカラ、最初ヨリ存續期間ノ十五年

ト云フモノヲ延バシテ、二十年ニスルト云フヤウナ議論モ、随分辦理士間ニハアルヤウニ聞イテ居リマス、私共ソレハ洵

ニ如何カト思ヒマス、ソレニ對シテ政府當局ノ御意見ハ原案ヲ維持ナサラウト思ヒマスガ、實際ニ於テ一箇年ニド

ノ位ノ延長ノ出願ガアツタカ、ソレハ果シテ利益ヲ舉ゲルコトガ出來ナイノデアルカ、利益ヲ舉ゲテ居ルモノガ随分延長ヲ

願出タヤウナ實績ガアルヤウデアリマス、其邊ヲ理窟ニ流レズ實際ニ就テ説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 只今ノ御尋ハ昨日モゴザイマシタノデ、大要其節御答致シテ置イタルデアリマスガ、大正八年迄ノ

調ベガ其處ニ出テ居リマスガ、八年迄ノ全體ノ出願ガ八十五件デ、其内許可致シマシタノガ十三件デアリマス、其名稱

等ハ後デ御廻シスルコトニ致シマス、是ハ法律ノ精神ハ昨日モ申上ダ通りニ、全ク儲ケノ上ニ儲ケヲ重ネルト云フヤ

ウナコトハ、是ハ絕對ニ否認シテ居ルノデアリマシテ、苦心ヲシタ發明ガ漸ク是カラ芽ヲ出サウト云フ所デ期限ガ來ルト

云フコトハ、如何ニモ發明ヲ獎勵スル上カラ遺憾ナコトデアルト云フノデ、重要ナ發明ニシテ今日迄利益ヲ舉ゲルコトノ

出來ナカッタモノヲ特ニ保護スルト云フ意味デ、其意味ノハッキリシタ勅令ヲ出シテ、其勅令ニ依ッテ尙又段々ノ議論等モ

アリマスルデ、是ハ特許局長ノ一存デ出來ヌヤウニ、委員會ヲ組織致シマシテ、只今ハ次官トシテ私ハ委員長ニナッテ居

リマスガ、其他參事官等モ加ハリマシテ委員會ヲ組織致シマシテ、委員會ノ審査ニ付シテ、サウシテ許可スルト云フ今日ノ制度ニナッテ居ルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ出來テ

居リマスルカラ、之ヲ誠實ニ行フト云フコトハ、又特許ト云フモノヲ保護シ、隨テ産業ノ開發ニ資スルト云フ上カラシテ

必要ナル制度ナリト當局ニ於テハ認メテ居ルノデアリマス、唯ダ御希望ノアリマシタヤウナ風ニ、萬一之ヲ應用スル當局ニ於テ不心得ノコトデモアリマシテ、今申上ダシタ法令ノ趣旨ヲ没却シテ、儲ケテ居ル者ニ向ホ一層儲ケシムルト

云フコトヲシマシタナラバ、是ハ如何ニモ不當ナコトデアリマス、何人ト雖モソレニ賛成スル人ハアルサハナイト思ヒマス、且又ソレハ明カニ職務上ノ違反デアラルト思ヒマス、サウ云フ意味デナイノデアリマス、之ヲ正面カラ萬一ニ起ル弊害ヲ、今申シマスヤウニ委員會等ノ組織ニ依ッテ容易ニ出來ナイ

ヤウニ鄭重ニ手續ヲシマシテ、重要ナ發明ニシテ利益ヲ舉ゲルコトノ出來ナカッタモノニ之ヲ適用スルト云フコトハ、實際

上ノ必要ニハアルダウト思ヒマス、特許年限ヲ増スト云フコトニナルデ、是ハドウ云フヤウナ特許ニモ一樣ニ及ブノデアリマシテ、是モ一ツノ方法デアリマセウケレドモ、特許ハ或ル年限ガ來レバ一般公衆ノ公益ニ之ヲ供スト云フコトハ、是

ハ又社會一般ノ立場カラシテ必要ナコトデアリマスルノデ、總テノモノヲ特許年限ヲ延長スルト云フコトハ、是ハ亦考ヘ

ナケレバナラヌコトデアル、只今申シマシタヤウニ、或ル特殊ノ重要ナル發明ニシテ、而モ利益ヲ舉グルコトノ出來ナクモ、事情ニ依テ相當ノ延期ヲ許スト云フコトハ、制度トシテ如何ニモ穩當ナル制度ノヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス

○矢野丑乙君 從來ニハ何件ト云フモノノアルト云フコトデゴザイマスガ、ソレハ所謂利益ヲ舉グテ居リナガラ、彌ガ上ニモ利益ヲ得ルト云フ意思カラ、法律ノ精神ニ背イタ者ガ多クアルト思ヒマスガ、從來ノ例ヲ御尋致シマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、以前ノ事ハ實ハ直接審査ニ當リマセヌノデ、一寸今ハキリ御答致シ兼テマスガ、昨年私ガ關與致シマシテカラノ模様ヲ見マス、儲カッタ者ガ尙ホ儲ケタイト云フ意味デ願タヤウナ模様ハ見エマセヌ、寧ろ重要ナラザル發明ト云フ方カラ觀察シテ、重要ナラザルモノノガ延期ヲ願ヒ出テ來ル者ガ多ク見エヌノデアルリマス、併ナガラ其裏面ヲ更ニ進ンデ調査致シマシタナラバ、發明ト云フモノノ上カラ見テ、重要ナラザルモノノデモ、商賣上儲ケテ居ルノカモ知レマセヌ、ケレドモ其手續ニ於テ十分儲ケテ居ルカラ許可シナイト云フ理由デ許可シナクカコトハ、殆ド無イヤウニ思ヒマス、利益ノ方ニ關係ナシニ、重要ナラザルモノノアル故ニ、許可シナイト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ昨日申シマシタノハ、丁度大正八年マデノ調ベシカゴザイマセヌノデ、ソレニ基イテ數字ヲ申上ゲマシタガ、九年マデノモノノ出來マシタ、ソレニ依リマスル、總出願數ガ八十九件デゴザイマシテ許可シタモノノ九十九件デアリマス

○矢野丑乙君 次ニモウ一ツ特許、實用新案、商標等ニ關係シマシテ、多ク特許辦理士法案ニ關係シタ問題デアリマス、申スマデモナク是等ノ法案ト云フモノハ國家産業發展ノ上カラ起テ居ルモノデアル、其立場カラ最も重要ナモノデアルト言ハナケレバナラヌト思フ、然ルニ辦理士法案ノ第二條第三條ヲ見ルト、是ガ徹底シテ居ラヌヤウニ考ヘル、ソレハ發明特許ト云フモノノ寧ろ從トシテ、而シテ是カラ起ル各種ノ紛擾ニ關スル法律上ノ手續ヲ寧ろ主眼トスル傾ガアル、ソレハ何故カト申シマス、特許辦理士ノ資格ヲ定メルノニ、無試験デ採用スルト云フ法文カラサウ云フコトガ起ル、技術ノ方面ヲ全ク没却シテ居ル、サウ云フコトハ法律萬能主義デアル、技術ノ方ガ缺ケテ居ル、特許法其物カラ考ヘルト、技術ニ重キヲ置カナケレバナラヌコトハ固ヨリノ事デアルト思フ、然ルニ從來ノ特權デアアル所ノ大學ヲ卒業シタ者ト云フ風ナ、例ヘバ法學士法學博士ナラ認メル、辯護士ナラ認メルト云フヤウナコトニナルト、技術者ヲ輕ク、何方カト申スト法律ノ知識ノ方ガ必要デアルト云フコトニナル、技術官ハ法律ノ試験ヲシ、法律家ニハ技術ノ試験ヲスルト云フノガ公平デアラウト思フ、法律ノ知識ガアレバ辦理士ニナル

コトハ出來マセウ、ケレドモ辦理士ノ中デ技術ニ堪能ナ人ヲ辦理士ニシテモ差支ナイ、若シ審判トカ云フヤウナ法律ニ關係シタ問題ガ起レバ、他ノ辦理士ヲ以テシテモ宜イ、要スルニ餘リ法律萬能主義デ、技術ト云フモノヲ眼中ニ見ナイ、之ヲ第二條、第三條ニ規定シテナイノハ、甚ダ本末ヲ顛倒シタコト、考ヘマス、之ニ對スル徹底的ノ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今ノ御質議ニ屬スルヤウナコトニ就テ、實ハ委員會ニ於テモ餘程鄭重ナ熱心ナル御議論ガアリマシテ、其結果此法文ニ現レタ通りニ歸著致シマシタ、是ハ種々外國ノ制度等モ調べテ見マシタガ、矢張外國ニ於テモ大體辦理士ヲ煩ハスコトハ、法律關係ノ事ガ主デアラテ、ソレヲ土臺ニシナケレバナラヌト云フ意味デ、第三條ノ規定ヲ置イテアル譯デアリマス、併ナガラ第三條ト致シマシテモ、其一項ハ丁度今御尋ノ如ク、全ク法律ヲ主トシタコトニナッテ居リマスガ、一項二項デアリマス——三項ノ方ハ主トシテハ技術ニ關スルコトニナッテ居リマス、併ナガラ特許局ニ於テ審査審判等ノ事務ニ從事スルト云フ方ハ役人デナケレバナラヌノデ、此規定ヲ適用シナイノデアリマス、其以外ノ技術者其人ハドウナルカト申シマス、ソレハ斯ウ云フ事ニ大體資格ヲ認メテ居リマスガ、即チ第二條ノ末項デアリマス、辦理士ノ試験ヲスル事項ハ勅令ニ定ムトナッテ居リマス、其規定中ニ於テ技術等ニ關シテハ一切試験ヲ致サヌ、唯單ニ特許ニ關スル法規、只今御審查ヲ願フテ居リマス、特許法トカ商標法トカ、云フモノニ就テ一通リ簡單ニ試験ヲ致シマシテ、其他ノモノハ總テ試験ハ要ラヌコトニ致シマシテ、技術方面ト法律方面トヲ調和ヲ取リマス積リデアリマス、決シテ技術ノ方ヲ無視シタカ、虐待シタト云フヤウナ意味ハ少シモアリマセヌ、結局技術ヲ專門トシテ居ル御方デモ、矢張特許ニ關スル法規位ハ一通リ心得テ居テ戴カヌト、辦理士トシテ少シ困ル、全ク試験規則ノ方デ御尋ノコトモ調和ヲ圖ル積リデアリマス

○矢野丑乙君 サウ致シマス、現行ノ特許辦理士ノ法律デアリマスガ、此第三條ニアリマス、技術者ニ與ヘテアツテ特權ト云フモノヲ、此改正案ニ依リマシテ全然剝奪ヲシテ居ルヤウナ感ガアリマス、私ハ所謂技術者既得權ト申シマス、ソレヲ無クシテ法律萬能ト云フコトニシタ、是ハドウ云フ譯デ既得者ヲ無クシナケレバナラヌト云フ必要ガ起ツカ、其理由ヲ一應伺ヒタイ

○田中政府委員 一寸私ノ申上ゲヤウガ足ラナクカ知レマセヌガ、詰リドウ云フ資格ヲ持テ居ル人ハ、斯ウ云フ事ニ就テハ試験ヲ要スルコトカ要セヌカト云フコトハ、試験規則ノ方デ定メル、此所ニ細イテアル此度ノ辦理士法ニ書イテアリマスノハ、當然權利ヲ有スルモノデケラ舉ゲマシテ、試験ニ關スルモノハ試験規則デ行カウ、サウシテ内容ニ至ッテ御話ノ如キ、例ヘバ工科大学ヲ卒業シタ人ガ辦理士ニナリタイ、工業學校ノ何科ヲ修メタ者ガ辦理士ニナリタイト云フコトニナルト、其修メタ學科ニ就テハ最早試験ヲスル必要ハナイケレドモ、前申上ゲマス通り特許法ノ特許ニ關スル法規位ハ一通リヤッテ貫ヒマセヌト、代理ヲ受ケテ事務ヲ御取扱ニナルノニ困ラウカラ、ソレデケレモノハ強制科目トシテ試験ヲシヤウト、斯ウ云フ意味デ決タノデアリマス、ソレ以上何方ガ宜イカハ試験ニナラウト思ヒマスガ、サウ云フ意味デ出來テ居リマス、其趣意ノアル所ヲ御汲取ヲ願ヒマス

○委員長(島田俊雄君) 矢野君發言ヲナサルトキニハ委員長ヲ御呼ビナッテカラ願ヒマス

○矢野丑乙君 ハイ、只今ノ御答辯ハ、諒承致シマシタ、議論ハ後ニ致シマスガ、御參考ノ爲メニ申上ゲマス、參考書類ノ中ニ特許辦理士資格並ニ府縣別人員表ト云フモノガアリマス、之ニ依ッテ見マス、此東京大阪ヲ除ケマシテ他ノ府縣ニ於キマシテハ、辯護士若クハ辯護士タル資格ヲ有スル人ハ、各地ニ相當ニアリマス、此技術ニ關スル所謂辦理士ト云フモノハ、東京大阪等ヲ除ケマシテ他二名古屋二三人アリマス、殆ド無イト言フデモ宜イト思フ、シテ見マス、私ノ考デハ、特許局デ御扱ヒニナル所ノ出願ノ件數ト云フモノハ、大部分ハ私ハ法律家ニ依ッテ成ル所ノ辦理士ニ依ラズニ、寧ろ技術者ノ辦理士ニ依ルコトガ多イト思ヒマス、殊ニ私モ多少此技術ノ方ノ學校ヲ出テ居リマス、一度此特許ヲ受ケントスル場合ニ、自分デ幾ラカ特許辦理士ノ所ヘ行ッテ、法律方面ノミナラズ技術方面ノ事ヲ相當御相談ヲシタ後デナイト、中々書ケナイ、シテ見マス、特許其他ノ出願ヲスル際ニ、技術ニ就テノ知識ハ最も多ク要ルコトハ明カデアリマス、辯護士ナドノ知識、法律ノ方ノ知識モ、特許ヲアルニハ其方面ノ事モ必要デアリマセウガ、要スルニ此特許法ノ大體ノ仕事ハ、大部分ハ技術方面ノ關係ガ多イト思フ、故ニ此所二三日間位デ宜シイト思ヒマスガ、御扱ヒニナツタ件數カラ調ベマシテ、技術方面ノ扱タモノノ幾ラデ、法律方面ノ者ノ扱タモノノ幾ラ、ソレハ出願ノ御調ガアレバ結構ト思ヒマスガ、ソレヲ調ベテ戴キタイ

○田中政府委員 御答致シマス、調ベハ致シテ見マスケレドモ、サウ云フ調ベハマダ出來テ居リマセヌカラ、少シ面倒カモ知レマセヌガ、ヤッテ見マス、吳モ申上ゲマスガ、決シテ技術者ノ方ノ辦理士ニナルコトヲ面倒ニシタ意味デナシニ、餘程手續ニ出來テ居ル譯デアリマス、唯ダ前申上ゲマシタヤウニ

其技術者ノ方デモ一通リ特許ニ關スル法規ダケハ、一ツ試
驗ヲスルコトニシテ戴カナレバナラヌト云フノガ、今度ノ改
正案ナノデアリマス、技術ダケアレバ特許ノ法規ノ試験ハ要
ラヌト云フコトハ出來ナリト定メマスガ、實地問題トシテハ
ハ、技術ノアル方ノ辦理ニナルコトハ、特許局トシテハ喜
ブ譯デアリマス、此度ノ法規ハ技術ノ學校ヲ出タ者ト、技術
ノ經驗ノアル者ハ、矢張辦理士ニナリ得ルコトニシテ、併シ其
以上ニ特許法規ダケノ試験ヲ要スルコトニナリ、ソレ
ダケノ違ヒデアリマス、問題ハソコ一ツ實施ニ就テ御研究
ノ上ニ、御審議ヲ願ヒタイノデゴザイマス、決シテ憶劫ニシタ
ト云フ譯デアリマス、極メテ簡單ナ特許法規ダケ
ノ試験ヲシテ、其外ノコトハ何ニモ要ラヌデアリマス
○委員長(島田俊雄君) 北井波治目君
○北井波治目君 北井波治目君
○委員長(島田俊雄君) ソレデハ後ニ願ヒマス、次ハ今泉
君

○今泉嘉一郎君 私人一般ノ事ニ就テ質問致シマス、此
前ノ會ニ於テ政府委員カラ特許局ノ擴張ニ就テ色々御考
アルコトヲ承リマシタガ、其擴張ノ事ガ此法規ノ改正ニ依
テ自然ニ生ズル所ノ經費ノ増額ガ、或ハ建築ノ改良ダケニ
止マルノデアルカ、或ハ本會議ニ於テ多分清瀬君デアツカ
ト思ヒマスガ、總テ内實ニ立入テノ事柄、ソレ等ノ擴張改
良ヲモ御含ミニナテ居ルノデアラウカ、其質問ヲ提出スル
所以ノモノハ、世間デハ特許法ト云フモノヲ單ニ既ニ或ル發
明ヲ爲シタル者ニ對シテ、其權利ヲ尊重スル所ノ一ツノ方
法デアルト斯ウ考ヘテ居ルヤデアリマスガ、私ノ觀察ハ是
ハ議論デハゴザイマセスガ、實際識者ノ間ニハ左様ニ認メラ
レテ居リマスガ、特許局ハサウ云フ一ツノ方面ヲ持テ居ル
以外ニ、新シキ發明ヲ更ニ獎勵スル所ノ機關ナノデス、ソレ
ハ勿論現在ニ於テモ權利ヲ尊重スレバ、新シキ發明ヲ獎勵
スルコトニナルコトハ當然デアリマスガ、其以外ニ特許局デ
以テ物ヲ調ベルト云フコトガ非常ニ多クノ發明ヲ產出スコ
トニナル、ソレヲ爲スガ爲メニハ、特許局ノ先ツ建築、或
ハ書類ノ整理、サウ云フ事ガ總テ關係シテ來ル、御承知ノ
御方モ御有リニナリマセウガ、世界デ有名ナ獨逸ノ特許局
ナド、云フモノハ、是ハ生キタル圖書館デアルト云フ位ニ、常
ニ四五百人ノ熱心ナ人ガ盛ニ調ベテ居ル、ソコデ調べタ結
果、自分ノ發明ト云フモノハ、既ニ古イ發明デアッテ、ソレハ
價值ノナイモノデアルト云フコトヲ知ルト同時ニ、新シキ發
明ガ人ノ知識ヲ應用シテ更ニ出來ルノデアル、斯ウ云フコト
ヲ爲スガ爲メニ、無茶苦茶ニ出願シテ、政府ノ手ヲ煩サナドト
云フコトハ、自然ニナクナルト共ニ、新シキ發明ガ出來ル、自
分ノ事ヲ申上ゲテ甚ダ失禮デアリマスガ、私ノ如キモ獨逸ヘ

四五週留學シ、又觀察ニ參リマシテ、眞先ニ伯林ノ特許局
ニ二週間、三週間ハ通テ調ベル、其ノ書類ノ整理ノ法ナド
ト云フモノハ、實ニ完全致シテ居リマシテ、例ヘバ茲ニ一ツノ
水雷ヲ發明シタイト云フ考ヲ以テ、自分ニ水雷ノ發明ノ理
想ヲ以テ、サウシテ特許局ヘ通テ、圖書ヲ閱覽スル、水雷第
二十何號ト云フノハ水雷ノ書類ノ綴リデアル、其全部ヲ拜
借シテ始メカラ調ベルト、何時ノ間ニカ自分ノ發明ハ消滅
シテ、更ニ大キナ有利ナ發明ヲ見出スノデアリマス、自分モ
獨逸デアリ一ツニ特許ヲ取テ居リマスガ、私共ノ初メノ考モ
矢張サウ云フヤウニ變更シタルデアアル、其處デ十分ニ研究シ
タモノヲ出ス場合ニ於テハ、審査官ノ手ヲ煩スコトハ極メテ
少ナク、短時日ノ間ニ許ヲ得ルノデアリマス、是ハ吾等ノ仲
間ニ於ケル活キタ圖書館デアルト云フコトニナリマシテ、此
特許書類ヲ閱覽スルコト云フコトハ、單ニ新聞或ハ雜誌ヲ見
ルトカ、或ハ學校デ講義ヲ聽クトカ、教科書ヲラキストブック
ヲ調ベルト云フヤウナ風ナ事柄トハ違テ、實際ニ活キタル學
問ナリ、研究ヲスル場所デアアル、サウ云フ場所デアリマスカラ、
其處ニハ大勢ノ人ガ能ク事物ヲ短時間ニ調べラレルヤウニ
廣イ場所ヲ持タナレバナラズ、又書類ノ整理方モ極メテ
徹底ノニ能ク出來テ居ラナレバナラズ、私ハ一二回東京
ノ特許局ニ參テ見マシタガ、洵ニ完全トハ申兼ルノデアリ
マス、斯ウ云フコトヲ御配慮ニナテ、今度ノ擴張ト云フコト
ガ出來ルノデアルカ、ドウカ、之ヲ一ツ承テ置キタイノデアリ
マス、向ホ同時ニ審査官ノ技術デアリマス、是等モ自分等ノ
經驗ニ依リマスルト、幾ツカ出シタル中デ、比較的詰ラ
ヌモノガ堂々ト許可ニナル、比較的有効デアッテ最モ有力ナ
モノデアッテ、世界ニモ餘リ類ガ無イト云フ位ニ自分デ誇リ
シテ居ルモノガ審査官ニ判ラヌ、審査官ノ了解ヲ得ナイ、
遂ニ判ラズジマヒニナテ、終リハ不許可ニナル、自分ガ或ル
獨逸人ト一緒ニ出願シタモノナドハ、遂ニソレハ戰爭ニ掛
タ爲メニ、減茶苦茶ニナテシマッタ、サウ云フコトヲ考ヘマスル
ト、矢張審査官其者ノ御選抜ニ就キマシテモ、考慮ヲ拂ハ
ナケレバナラヌノデ、私ハ特許局ノ内實ノ改良ト云フコトヲ、
今回ノ特許法ノ改正ニ伴テ、御考ニナテ居ルカ、ドウカヲ
承リタイノデアリマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今御尋ノ御趣旨全
體ニ就テ、殆ド公共及バズナガラ其御期待ニ副フヤウニ、將
來ト雖モ努メマスル積リデ居リマス、又現在ニ於テモ甚ダ十
分ヲ望ム上カラ申シマスルト、貧弱ナ計畫カモ存ジマセヌケ
レドモ、其方針ニ向テ事實ノ上ニ於テ、歩ミツ、アル譯デア
リマス、丁度御尋ノ例ヘバ圖書館ノ事デ申シマシテモ、東京
市中ニ於テ殊ニ技術ニ關スル圖書館トシテハ、特許局ノ圖
書館ハ餘リマツクナイト思ッテ居リマス、併シ其上ニモ益、之

ヲ整理擴張致シタイト云フ意味デ、先日衆議院ノ御同意
ヲ得マシタ豫算ニモ、新ニ矢張圖書購入費トシテ一万五千
圓ヲ附加ヘタヤウナ譯デアリマス、甚ダ僅カデアリマスレド
モ、併ナガラ圖書館ヲ相當ニ準備シテ居ル上ニ、向ホ新シイ
書籍等ヲズン、買ヒ足シテ行クヤウニ、又其以外ニハ各
國ノ特許局トモ連絡ヲ取テ居リマシテ、或ハ新刊書籍ノ
交換ト云フコトモシテ居リマス、無論金ニ積テハ、大キナ書
籍ハソレ以上ニモ集マルコトヲ思フノデアリマス、要スル段々
サウ云フヤウナ經費ヲ取リマシテ、書物ノ方ハ一面ニ増ス、
又是ハ工業所有權ニ關スル各國聯合會議ノ申合セノ結
果デアリマスレドモ、特許局ニ附屬シテ特許局陳列館ト
云フモノヲ必ズ置クコトニナテ居ル、今日デモ甚ダ規模ノ
小サイ陳列館ガゴザイマスレドモ、是モ新特許局トシテ取
カシナイヤウニ致シタイ積リデアリマシテ、今年度ト來年
度ニ互リマシテ、二十九萬圓ノ豫算ヲ以テ陳列館ヲ新築シ
ツ、アル譯デアリマス、先頃御協賛ヲ得マシタ豫算ニハ十四
萬圓、來年ハ十五萬圓ト云フ繼續費ニナテ居リマス、實物
ノ陳列館、及學問ノ方カラモ研究ガ出來ル圖書館等ヲ兩々
備ヘマシテ、丁度御質疑ノ要點ニ觸レルヤウナ事ニ向テ、進
ミツ、アル譯デアリマス、ソレカラ審判審査等ノ事務ニ關ス
ル職員ノ事ニ就キマシテモ、是ハ申上ゲルマデモナク、無論
其學術等ニ堪能ナル人ヲ出來ル限リ選抜致シマシテ、其職
ニ當ラシムルト云フコトハ、無論努メツ、アル譯デアリマス
レドモ、御承知ノ通り近年ハ役人ノ待遇ガ甚ダ裕カデナイ
爲メニ、皆エライ働キノアル方ハ民間ノ方カラ御覽ニナルト、
ヤウナ譯デア役人ノスル仕事ハ民間ノ方カラ御覽ニナルト、
甚ダ齒痒イ事ガ多イデアラウト思ヒマス、再々種々ノ點ニ就
テ御叱ヲ蒙ッテ居ル譯デアリマスレドモ、先ツ今日ノ程度
ニ於テ、最善ヲ盡シテ相當ノ人ヲ選ミツ、アル譯デアリマス
ケレドモ、ドウシテモ民間ノ方ノ技術等ガ一歩進ンデ居ル譯
デアリマスカラ、兎角御叱ヲ受ケルコトガ多イヤウニ思ハレマ
ス、此方トシテハ十分努メマスレドモ、ドウソ一ツ行届カヌ
點ニ就テハ、十分外部カラモ御鞭撻ヲ願フト云フヨリ外致
方ガナイト思ッテ居リマス、再々役人殊ニ技術ニ關スル役人
等ノ待遇ニ就テ、優待ノ案ヲ組立テ見マスレドモ、矢張政
府ハ政府トシテ、ドウモ各般ノ役所ニ互ッテ待遇方法ヲ改
メルト云フコトハ、容易ナ事デハナイノデ、ドウシテモ千篇一
律ニ總テ上ゲル者ハ上ゲルト云フヤウナ事ニナルノデアリ
マスカラシテ、甚ダ運ビ難イノデアリマスレドモ、マア漸次ニ
待遇等モ高マリツ、アル譯デアリマスレドモ、先ツ注意ノ仕方
ニ依ッテ、待遇ノ如何ニ拘ラズ相當ナ有力ナ方ニ其處分ヲ
執ッテ戴クト云フコトモ出來得ルコト、思ヒマス、將來其點
ニ就キマシテハ、一層ノ注意ヲ致シマス積リデ居リマス

○今泉嘉一郎君 誠ニ結構ナル御計畫ト存ジマスガ、只今御返答中ニ圖書ヲ大ニ増スト云フ御考デアルト云フコトモ、是モ内意ハ結構デアリマスガ、私ノ申シマシタ特許局ニ一般ノ技術ニ關スル圖書ヲ集メルト云フハ、ソレハ特許審判所ニ於テ參考トナルト云フ意味ニ於テノ事柄ノ方ガ多クテ、公衆ニ對シテハ却テ其處デ調ベルヨリモ銘々他ニ調ベル方法ガアラウト思ヒマス、私ハサウ云フ圖書ヲ云フハ、ハナクシテ、此特許ノ第何號ト云フ風ナ特許許可證ヲ完全ニ整理シテ置キタイト云フデアリマス、一例ヲ申上デマスレバ鐵ニ關スル事柄ナラバ、獨逸邊リデ第十八例トシテアリマス第十八例トシテ其中ニ例ヘバ製鋼——鋼ヲ製造スルト云フ方ガ其中ノ第一ナラ第一、鋼ヲ製造スル第一ノ中ノ鐵ニ關スル事ガ更ニ其中ノ第一ニナテ居ルト云フ風ニ、完全ニクラスヲ分ケマシテ、サウシテソレヲ貯藏スル場合ニハ、一々別ノ函ニ貯藏シテ置イテ、殊ニ多クノ人ノ見ヤウスルヤウナモノニ就テハ、重複ヲ澤山拵ヘテ置イテ、今他ニ貸シテアルカラ御前ニハ貸セナイト云フヤウナ事ノ無イヤウニスル、兵器ニ致シマシテモ水雷ハ水雷、探照燈ハ探照燈ト云フ風ニ、總テモノヲ分類シテ、公衆ノ多ク見ルモノニ對シテハ十分ニ重複ノ書類ヲ備ヘテ置キ、私ノ活キタ學問ト云フモノハ、人ノヤタ發明許可證ヲ見ルト云フコトガ、活キタル學問ト申スコトデアアル、圖書ヲ見ルト云フコトハ、自分デ他ニ見ル方法ガ幾ラモアリマセウト思ヒマス、ソレデ希望スルハ餘リ金ノ掛ル問題デハナクシテ、内實ノ整理如何ニ多ク屬スル事デアリマス、其點ハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、其他ハソレデ満足致シマシタ、第二ノ問題ト致シマシテ御伺ヒ申シタイノハ、工業所有權戰時法デゴザイマスガ、此戰爭中ニ獨逸ノ專賣局ニ日本人ガ出願ヲシテ、勝手ニ使用權ガ、獨逸ノ專賣局デ百何十種アルト云フコトヲ承テ居リマス、ソレト此今度ノ特許法トノ關係ハドウ云フ風ニナリマスデアリマスガ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今御尋ノ前段ニアリマシタ此特許ニ關スル明細書、其他ハ我國ノモノヨリモ寧ろ外國ノモノ等ニ重キヲ置キマシテ、總テノ事ヲ分類シテ十分ニ整理スルノ必要ヲ認メマシテ、是モ今年ノ豫算ニハ一寸數字ハ明瞭ニ覺エマセヌガ、新ニ増額致シマシテ、數方ノ金ヲ使テ十分ニ急イデ其事ニ努メマスル事ニ致シマシタノデゴザイマス、是モ餘リ長カラザル將來ニ於テ、御期待ニ幾分副フヤウニナラウト思ヒマス、大ニ努メテ居リマス、今日マデハ甚ダ行届キマセヌデシタガ、大ニ奮テヤリマスルコトニナテ居リマス、其點ハドウゾ御安心ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ此戰時中ノ敵國人ノ特許權ノ事ニ就キマシテハ、御

承知ノ通り特別ノ法律ガ出マシテ、我國人ニ專用權ヲ與ヘルト云フ事ニナツタ譯デアリマス、其專用權ト云フモノハ將來ト雖モ、所謂其特許權ノ權利ノ間ハ續イテ行ク譯デアリマスルカラ、專用權者ハ專用權考トシテ、平和克復後ト雖モ其權利ヲ實施シテ行クコトガ出來ル譯デアリマス、併ナガラ平和克復ト共ニ、又條約ノ結果其元ノ特許權者ハ特許權ヲ行使スルコトガ出來ル譯ニナルデアリマスカラシテ、事實ニ於テハ特許權者ハ特許權者トシテ、我國ニ於テ其特許權ヲ行使スル、又戰時中ニ特別ノ法律規定ニ依テ特許權ノ專用權ヲ得タ人ハ、矢張ソレヲ專用シテ行クト云フ、兩方列シテ兩立シテ行クト云フ結果トナラウト思ヒマスアレドモ、新ニ所謂專用權デスネ、戰時中ノ法規ニ依テ新ニ專用權ヲ得ヤウト云フコトハ、是ハ當然消エタ譯デ、ソレハ出來マセヌ、既ニ與ヘマシタ權利ダケハ續イテ存續シテ行ク、斯ウ云フ形ニナラウト思ヒマス

○今泉嘉一郎君 私人質問ハ是デ済ミマシタ

○出口直吉君 私が質問ヲ致シマスノハ、實ハ矢野君ニ於テハ辨理士令ノ改正ノ事ニ就キマシテ大體質問ガ盡サレテアリマシタガ、私ハ其矢野君ノ質問ニ就キマシテ尙ホ重ネテ質問ヲ致シタイト思ヒテ居リマシタノデアリマスガ、通告順ニ依リマシテ只今質問ヲ致シマス、先刻矢野君ノ質問ニ對シマシテ、田中次官ノ御答ニ依リマス、技術者方面ノ辨理士ノ資格ニ就テハ、別段殊ニ之ヲ普通ノ辨護士ノ方ト辨理士ニナル資格ニ就テ、特別ナル關係ニ於テ決シテ冷遇ヲシタ譯デハナイガ、此方面ノモノニ對シテハ從來ノ辨理士令ヲ改正スルニ就テハ、銓衡ノ規定ヲ廢シテ、サウシテ先ヅ辨理士ニナルベキ資格トシテ、各方面ノモノニ對スル缺ケテ居ル所ノ點ト認ムベキ、即チ其辨理士トナルベキ資格ノ一トシテ、法規位ノ事ハ試験ヲスルノデアラ、特ニ外ノ事ヲ別段之ヲ制限ヲスルト云フ譯デナイノデアラカラ、別段ニ懸隔テテ差別ヲ設ケタト云フ譯デハナイト云フ所ノ御答デアリマシタガ、此御答ヲ根據シテ考ヘマスルト、即チ技術方面ノモノニ依リマスレバ、若シモ次官ノ御答ノ如キ點カラ申シマスレバ、其方面ノ者ハ辨理士ノ事務ニ携ハッテ、幾ラナリトモ法令法規ヲ辨ヘ得ラル、ダケノ經驗サヘアレバ宜イト云フコトデアリマスレバ、即チ此辨理士事業ニ携ハッテ居タ所ノ、即チ經驗ヲ有シタト云フコトサヘアレバ、銓衡ヲシテ試験委員ガ之ヲ辨理士ニ推薦スルコトガ出來ナイ譯デハナカラウト思ヒマス、デスレ僅カノ事デアラナラバ、從來ノ此點ニ就テ改正ヲセラレタト云フコトハ、甚ダ僅カノ點ニ依テ改正ヲセラレタコトノ如ク思フノデアリマス、デ實際ニ於テ自分等ノ知ル所ニ依リマス、此特許ノ辨理士ナル者ハ、寧ろ技術ヲ基礎

トシテ立ッテ居リマスル所ノ此辨理士ノ方ノ事務ガ頻繁デアッテ、普通辨護士ヲ兼ネテ居ラルノ所、所謂法律基礎ニ依テ立ッテ居ラルノ所ノ辨理士ノ方ガ、其實際ニ於テ此辨理士ノ事務ガ少ナイヤウニ思フノデアリマス、是等ノ點ニ就キマシテハ、當局ト致サレテ果シテ此今回ノ辨護士ガ辨理士タルコトニ就テハ、甚ダ手輕デアッテ、自然ニ資格ヲ有セラルト云フニ拘ラズ、技術方面ノ側カラハ、少シク懲罰ナ手續ヲ設ケラレテアルヤウデアリマスガ、其實際ハ却テ是ト反對デ、技術方面ノ者ノ方ガ一層辨理士ニナッテ居ル所ノ數ハ少クハアリハシナイガ、其事務ヲ扱ハレテ而モ有力デアルト云フコトハ、恐ラクハ當局ニ於テ御認ニナルコト、思ヒマス、此點ニ就テ如何ナモノデアリマスガ、ソレカラ第二ニハ銓衡ノ制度ヲ全廢サレタト云フコトニ就テハ、何カ銓衡上弊害ガアルノデアリマスガ、何カ是ハ缺點ヲ他ニ有セラル、ノデアリマスガ、其點ニ就テ御伺致シタイト思ヒマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、御尋ノ御趣旨ニ副フカ副ハナイカ判リマセヌガ、此現ニ所謂辨理士トナッテ居ラル、方ハ、總テ將來ト雖モ此法律實施ノ後モ繼續シテ辨理士ノ業務ニ從事セラル、コトニナル、ソレハ附則ノ方ニ明ニ規定シテアルノデアリマス、唯タ此度ノ辨理士法ニ於テ改マタルコトハ、是カラ新タニ其辨理士ヲラントスル人ニハ適用スルヤウニナル、而シテ其今度ノ改正ノ結果ハ先程申上ゲマシタ通り、世間カラ認メラレテ相當ナ所謂技術ニ堪能ナ人デアアル、或ル相當ナ學校ヲ卒業シタトカ何トカ云フ人ニハ、其點ニ於テ何等疑念ヲ置ク必要ハナイ、唯ダソレ以上特許ニ關スル法規ダケハ、一通リ心得テ居テ戴カスト、他人ノ代理トナッテ特許局ニ於ケル其色ノ取扱ノ事務ニ當ルト云フコトニ就テハ、ドウモ不十分デアアル、ソレダケハドウモ試験シナクチャナラヌト、斯ウ認メタ譯ナンデアリマス、ソコハ些細ト言ヘバ些細ノ點デアリマスガ實際ノ上カラハソレダケノ必要アリト云フ意味デアリマス、實際ノ上カラハソレダケヲ知テ居レバ、特許法規ハ知ラヌデモ宜イジヤナイカト云フ御論ナレバ、又御論デアリマスアレドモ、ソウ云フ意味デアリマスカラ、技術ノ方ガ特許局ノ事務ニ於テ、非常ナ關係ヲ持シテ居ラレ、又非常ニ有用有益ナモノデアルト云フ基礎觀念ニ於テハ、當局ニ於テモ毫モ御尋ノ趣意ニハ違テ居リマセヌ、唯ダ技術以外ノ手續ノ事ニ就テ實際銓衡ニ代ヘルニ却テ一層公明正大ナ試験手續ノヤウナ方ガ宜カラウト、斯ウ云フ譯デアリマス

○出口直吉君 只今私が御尋ヲ致シマシタ此趣意ガ、少シ御聴取ガ如何カト思ヒマス、尙ホ申上ゲマスルガ、此從來特許局ノ辨理士ノ資格ヲ有シテ居ル者ガ、此改正ニナリマシテモ、其資格ヲ有シタ者デアリマスレバ、又辨理士タ

ナリマシテモ、其資格ヲ有シタ者デアリマスレバ、又辨理士タ

ナリマシテモ、其資格ヲ有シタ者デアリマスレバ、又辨理士タ

ナリマシテモ、其資格ヲ有シタ者デアリマスレバ、又辨理士タ

ルコトハ是ハ差支ナイコトアルト云フコトノ御答デアリマシタガ、私ノ問ハントスル所ハ、此辦理士ノ事務ヲ助ケテ行ク所ノ者、即チ其辦理士ノ事務所ニ在リテ、同一ノ事務ニ從事シツ、アル所ノ此經驗者ヲ云フデアリマス、ソレカラ今一ツ此辦理士ノ事業タルヤ、多クハ特許其他商標新案等ニ屬スルコトデアリマシテ、技術ヲ基礎トシタル所ノ事務ガ最も多イデアリマシテ、普通ノ法理ニ關スル所ノ事件ハ、割合ニ比較的ニ少イコトニ思ヒマス、若シモ法律關係ノ事件ガ起リタルレバ、其事件タルヤ、多クハ技術ニ依リテ起リテ來タリコトノ方ガ其事件ノ種類ガ多イ存ジマス、置クト云フコトガ、辦理士ノ資格トシテハ、唯一ノ資格デアルト云フコトヲ、私共ハ考ヘルデアリマス、然ルニ技術方面ノ相當ノ資格者ニ對シテハ、法規位ノ試驗ヲ要スルト云フ所ノ御趣旨デアリマシテ、辦理士タル法理ヲ根據トシテ立テ居ル者ニ對シテ、更ニ技術的ノ試驗ガ要ナイト云フコトハ、是ハ不合理ナ事ト存ジマス、モウ少シ徹底の二何カ據ロノ私共ヲ首肯セシメ得ラレバ、理由ガアリマスカドウデアリマス、此點ニ就テ今一應御伺フ致シテ置キマス

○田中政府委員 御答致シマス、其第一點ノ或ル年限ノ間辦理士ノ事務所ニ於テ、職務ヲ執リテ居ル者ニモ辦理士タル資格ヲ與ヘテ宜カラウチヤナイト云フ御尋ノヤウデアリマス、其點ハ實ハ其餘程ノ問題デゴザイマシテ、農商務當局トシテハ實ハ其案ガアツタデアリマス、詰リ或ル年限間、丁度此度ノ辦理士法ノ第三條ノ三年以上特許局ニ於テ高等官ノ職ニ在リテ、審査ノ事務ニ從事シテ居タ者ハ辦理士ニナラレルト云フ、之ニ準ジテ或ル年限ノ間辦理士事務所ニ居テ、特許其他ノ事ニ就テ事務ヲ執リテ居タ者ニモ、矢張資格ヲ與ヘテドウカト云フ案ヲ拵ヘマシテ、先日來度ニ申上ゲマシタ、此特許法規ノ審査委員會ノ議ニ附シテデアリマス、所ガ委員會ニ於テ否決セラレタノデアリマス、ソレハドウモ其各事務所、事務所ノ中ニ居テ何年間誠實ニ引續イテ其事務ヲ執リテ居タカ居ラスカト云フヤウナコトハ、實際ドウモ取調ガ困難デアリシ、弊害ガ起リ易イ、餘程ムツカシカラウ、表面カラ言フト、サウ云フ多年同ジ經驗ヲシテ居タト云フハ、善イ譯デアリガ、餘程困難ダト云フ御考ガ通ジテノ意見デアッタヤウニ思ヒマス、先ヅ他ノ理由モアツタカモ知レマセヌガ、要スルニ大體ノ原則トシテ、根本制度トシテ試驗ヲスルト云フコトニスルナラバ、サウ云フ堪能ナ人デアレバ、試驗ニ應ズルガ宜イデヤナイカ、サウデナイトドウモ制度トシテハ面白クナカラウト云フコトデ、否決ニナタ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツノ辦理士トラシムルニ

於テ法律ノ方ヲ根本基礎トスルカ、技術ノ方ヲ基礎トスルカト云フヤウナ意味ノ御尋ノヤウニ承知致シマシタ、是ハ實ハ其法律ノ方サヘ知テ居レバ、技術ヲ知ラヌデモ宜イカ、一方ヲ重ク見ル一方ヲ輕ク見ルト云フヤウナ譯デアリマセヌ、アリマセヌケレドモ、大體此辦理士トシテノ職務ノ大部分ハ海ニ困難ナル場合ニ遭遇スルコトハ、法律ニ關係スルコトガ多イト云フ風ニ私共認メテ居リマス、モウ一ツノ是ハ必ズシモ外國ノ例ニ依ル必要モナイ譯デアリガ、何所ノ法律デモ矢張此特許法規ニ關シマシテ、辦理士タル職務ヲ當然執リ得ル人ハ、所謂辯護士ハ出來得ルト云フコトニナッテ居ル、又隨テ判檢事等ノ職務ニ在リタ者モ、之ニ準ジテ出來ルコトニナッテ居ルデアリマス、ソレ等ノ特許法規ノ世界共通のノ思想ノ上カラモ、其方ガ當然權利アルモノト認メマシテ、他ノ一面ニ於テハ大體先程來モ御尋ニナリマシタガ、此技術ニ關スル方ノ色ノ法規ノ運用ニ就テ言ハル、點ハ、十分ニ認メラレテ居リマス、デアリマス、唯ダ繰返シテ申上ゲマス通り、ドウシデモ矢張特許法規ダケハ一應調ベテ裁カヌト云フト、其事務ニ當ラズ、當人モ御困リデアラウシ、又依頼人ガ其人ニ頼ンデモ、其頼ンダ人ガ特許ニ關スル法規ヲ知ラナイ、己ノ代理ニナッテ事務ヲ執ラレルト云フ人ニ、サウ云フ人ガアルト云フヤウナコトデ、失望セシムルヤウナコトガアツタリシテハ困ルカラ、ソレダケハ別ニ必要デアラウト云フ意味ガ、此改正ノ根本主義ニナッテ居タ、技術ノ問題デナイノデ、單ニ特許法規ダケノ問題デアルカラ、ソコガ程度ノ問題デアリマスカラ、ドウゾ一ツ宜シク趣意ノアル所ヲ御汲取リ願ヒマス

○出口直吉君 銓衡ト試驗ノコトニ就テ御伺致シマス

○田中政府委員 御答致シマス、別ニ弊害ガアルト云フ風ニハ認メテ居ラスデアリマス、ケレドモ、銓衡ト云フヤウナ内輪ノ手續ヨリハ、矢張表面ノ試驗ト云フコトニシタ方ガ簡單明瞭デ、何等其間ニ疑義ガ起ラナイ、銓衡ト云フコトハ無論所謂銓衡デアッテ、内部ノ手續デアリマス、彼レニハ銓衡シテ許可シテ吳レテ、己ノ方ハ許可ニナラナイト云フヤウナコトガアツテ、試驗デヤタ方ガ公明正大デ宜カラウト云フ譯デアリマス

○委員長(島田俊雄君) 私モ一ツ御問シテ置キタイト思ヒマス、通告ガ他ニアリマセヌガ、此現行法ニハ使用權ト實施權ト云フモノガ分ケテアルヤウデアリマス、改正法ニハ特許ニ就テモ、實用新案ニ就キマシテモ、實施權ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ解釋ノ仕方ニ依ッテ、此實施權ノ内容ガ將來色ニナ點ニ於テ疑義ヲ生ジ、問題ヲ起サヤウナコトガアリヤシナイト云フコトヲ思フデアリマス、實施權ト云フモノ、内容ハドウ云フ御解釋ヲ採ッテ居ラル、ノデアリマス、

又現行法ノ使用權トノ關係ハ、ドウ云フ風ニ考ヘテ居ラルルノデアリマス、其點ヲ一ツ説明シテ置キタイト思フ

○田中政府委員 御答致シマス、此度ノ法律ニ於テ所謂實施權ヲ認メルト云フコトハ、一體ドウ云フコトカト云ヒマス、要スルニ特許權者ガ別ニアル、其特許權者ノ有スル權利ヲ私モ實施スルコトガ出來ル、實施スルコトガ出來ルト云フコトハ、ドウ云フコトカト云フハ、或機械ニ就テノ特許權ナリトスレバ、私モ其機械ヲ拵ヘルコトガ出來ルト云フコトナル、機械ヲ自分デ拵ヘテ、自分ガ使フベキ場合ノミヲ言フノカト云フト、サウデハナイノデ、實ハ其拵ヘタ機械ヲ他ニ販賣スルコトモ出來ル、其所迄含メタ意味デアリマス、之ヲ實施權ト云フ方ガ實際ノ意味ニ適用スル、使用權ト云フト、何ダカ其機械其物ヲ自分ダケ使フト云フヤウナ風ニ見エルトス、權利ヲ使用スルト云フ場合ハ、矢張實施スルトスル權利ヲ缺ク限定シタモノ、如ク見エルト、實施ト云フデ居リマス、法律ノ目的トスル所ニ能ク當嵌マリハシナイカ、斯ウ云フ意味デアリマス、私共御問スルノハ、其實施ト云フコトニ就テハサウデアリマス、現行法ニハ此使用ト云フ場合ヲ認メテ居テ、試驗ノ爲メ二人ノ特許ヲ使用スルトカ云フコトニハ、其使用ノミニ止マツテ、販賣シタリ何カスルト云フコトハ含マナイヤウニ解釋スルノガ至當デアルト、サウ云フコトニナラナレバナラヌト思ヒマス、然ルニ此改正法ノヤウニ、之ヲ實施權ト云フコトニ、皆含メテ實施ト云フコトノ中ニ使用シ及ビ販賣スルコトモ含ムト云フコトニナルト試驗ノ爲メ二人ノ特許ヲ使用スル場合デモ、矢張試驗ノ爲メニ使用スル目的ニ於テノミナラズ、其以外ニ其試驗ノ名目ノ下ニ之ヲ販賣スルコトモ出來ルヤウナ廣イコトニナッテ來ハシナイカト云フコトヲ質問スル譯デアリマス

○田中政府委員 御答致シマス、現行法ニ於テモ使用ト書イデアリマス所ハ、所謂今日ノ云フ實施權ト同ジ意味ニ解釋シテ居ルデアリマス、私ノ方デハ一詰リ特許權ノ使用ト云フモノハ、其權利ノ使用ナラデ、其權利ノ使用ト云フモノハ、矢張權利ノ幅ガ同ジデナレバナラヌ、唯ダ使用ト云フ言葉ヲ使ヒマス、只今申シマシタヤウナ風ニ、何ダカ自分一個ダケノ其直接ノ使用ダケニ就テ限ルカノ如ク、唯ダ權利ノ使用デアレバ自分ノ使用ダケノヤウナ風ニ見エルト、ソコドウモ使用ト云フ言葉ノ方ガ、面白クナイ斯ウ云フノデ、實施トナタノデアリマス

○鈴木久次郎君 此改正案ハ頗ル一般ノ出願者其他ノ權利ノ伸張ニ重キヲ置カレタト云フコトハ、此改正案ノ長

○田中政府委員 御答致シマスガ、第一ノ前提トシテ此度ノ所謂公告手續、公衆審判ニ依ルト云フヤウナコトハ、費用モ掛リ手數モ掛ルト云フ御尋ノ點ハ、寔ニ此制度トシテ已ムヲ得ナイ遺憾ノ點ト、此方デモ認メテ居リマス、併ナガラ此特許ヲ與ヘテ爾後ニ紛議ヲ起スモ、特許ヲ與ヘ以前ニ於テハ、是ダケノ手續ヲ履ンダ方ガ公衆ノ爲メニモ便利デアリ、又權利ヲ得ル方ノ人カラモ安心デアルト云フノデ、ソレニ依ッテ得ル利益ハ少クノ費用ニハ換ヘ難イモノデハナイカ、斯ウ考ヘタノデアリマス、殊ニ昨日モ申上ゲマシタ通り、此特許法規ニ關シテハ、世界ノ大勢トモ云フベキ事デ、各國皆此制度ヲ採ルニ到ッタノデ、我日本ニ於テモ此改正

○委員長(島田俊雄君) 御諮り致シマスガ、各法律案ニ就テ段々ニ質疑シテ往ツタ方ガ便宜デアリ、又進行モ早イト考ヘマス。今迄ノ御質問ヲ拜聴致シマスルト、段々精細ニ入ッテ、御前提ハ一般ト云フコトデアツテモ、内容ハ各箇條ニ涉ッテ居リマス、ソレデ一般ノ質問ハ此程度デ終了シテ各法律案ニ就テ審議ニ移ルヤウニ致シタイト思ヒマス。

○清瀬一郎君 法案ノ順序ト議事ノ要點ヲ豫メ整理シテ進行ナサレタラ如何デアリマスカ

○野村嘉六君　只今ノ委員長ノ御希望ハ――總體論ヲ打切ルコトハ異議ハアリマセヌガ、逐條審議ニナルト、四ツノ

○委員長(島田俊雄君) ソレデハ午後二時頃カラ再ビ開
クコトニ致シマス、午前ハ是デ休憩致シマス

午後二時十五分開議

○今泉嘉一郎君 私ハ第一章デヤルナラ、一章全部ヲ議

○委員長(島田俊雄君) ソレチャ一章全部ヲ議題ト致シマス、一章全部ヲ議題ニ致シマス、一章ニ就テ豫メ通告ヲ

○今泉嘉一郎君 私ハ通告ハ致シテ居リマセヌガ、私ノハ
一章ト一章デス

○清瀬一郎君 一章二八 大分質問箇條が多イノデアリマ
スガ……

モ御尋致シマス、是ハ政府委員ノ方デハソンナコトハ言ハナ
イデモ、モウ濟シタト云フ御意見モアリマセウシ、ソレハ學問

上ノ議論タカ、重大ナ事テナイト云フ風ノ御考モアリマセウ
ガ、今回ハ單純ナ修正デナクシテ、法典ノ編纂デアリマスガ

故ニ、少シ立入ッテ御聞キシタイと思ヒマス、殊ニ先般田中政府委員カラ善イ所ガアレバ随分議論ノ上デ變更スル餘地ガアルノダト云フ、賞讃スベキ御言明デアリマシタガ故ニ、少シ小サイ問題モ順序ニ依リマシテ御聞キ置キシタイノデアリマス、勿論ノ事デアリマスルガ、私ハ議論ハ申シマセヌカラシテ、アツサリト御聞キシタイノデアリガ、ソレハ技術ノ解釋ノ參考ニナルデアラウト思フ點モアラウト思ヒマス、第一條ノ中デ「工業ノ發明」ト云フコトニ就テ質問ヲ致シマス、是ハ從來ヨリシテ問題ノアツタ文字デアアルノデ、特許ニ依テ保護サレハ發明ハ農業、商業ト對立シタ工業ト云フ意味ノ發明ダケデハナイノデス、此文字ハ狹イト云フコトハ、總テノ荷モ特許ニ關係シタ者ガ言フテ居タ議論デアリマスルガ、斯ノ如キ顯著ナル輿論ヲ何故ニ此際御採用相成ラナカタカ、是ハ工業的ノ文字ハ寧ろ産業的ト云フ風ニ直スカ、或ハ一層之ヲ削除シテシマツテ、發明ト云フコトニシテ、サウシテ特許ノ出來ナイモノハ第三條ニアルノデアリマスカラ、發明ト云フコトニシテシマヘバ此形容詞ハ要ラナイデアリマス、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此論ハ勿論委員會デアッタコトト思ヒマスガ、何故ニ議論ノアル工業的ト云フコトヲ冠セラレマシタカ、此點ニ就テ御釋明ヲ求メテ置キタイと思フ

○宮内府委員 工業的ト云フ文字ニ就キマシテハ、是ハ廣ク解釋スルコト云フコトニ從來ナッテ居リマスコトハ、只今清瀬君ヨリ御話ニナッテ通リデアリマス、然ラバ何故ニモツト之ヲ廣メテ産業的ニセナイカト云フ御尋デゴザイマスケレドモガ、此法律ト御承知ノ通り萬國工業所有權保護同盟條約トモ關係ヲ持テ居リマス事デモゴザイマスケレド、其方ニモ工業的ト云フ文字ガ使テゴザイマスルノデ、從來ノ工業的ト云フコトデ略、大體ノ觀念ハ得ラレテ居ルヤウニ考ヘマスコト、此際特ニ條約ヨリ切放シテ特別ノ言葉ヲ用ヰルト云フコトモ如何ナモノデゴザイマセウカ、又獨逸アトリノ何ヲ見マシテモ、矢張工業的ト云フ意味ノ言葉ガ用ヰテゴザイマスノデ——工業的ニ使用セラル、ト云フヤウナ意味ノ言葉ヲ用ヰテ居ルヤウニ存ジマス、是ハ申上グル迄モナク清瀬君御承知ノ通りデアリマス、モウ一步進メテ尙モ發明ノ中ニ當然入ルベキ言葉デアアルニモ拘ラズ何故ニ工業的ト云フモノヲ別ニ抽出シタカト、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、ソレハ學說ナリ何ナリカラ申シマシタナラバ、發明ト云フ中ニ入ル事デハゴザイマセウケレドモ、併ナガラ從來モ使テ居リマスルシ、此言葉ヲ用ヰテ置キマシテ何等差障リガナイコトデアラウ、斯ウ云フ考ヲ以テマシテ從來ノ通りニ致シタヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○清瀬一郎君 是レ以上ハ議論ノヤウニ思ヒマスガ、併ナガラ此水産トカ農業、養蠶、林業、斯様ナル生産業、ソレカラ交通、廣告、陳列トカ、斯様ナ風ナ商業ニ關スルモノ、無論是ハ含ムト云フ政府委員ノ御意見デ工業的ト云フ文字ヲ使ハレタノデゴザイマセウガ、御言明ヲ得テ置ク方ガ後日ノ參考ニモナラウト思ヒマス

○宮内府委員 大體ニ於キマシテ含シデ居ルノデアリマスケレドモガ併ナガラ考ニ依リマス、例ヘバ商業デゴザイマシテモ、他ノモノデゴザイマシテモ、所謂大體ノ觀念ト致シマシテ、此技術上ノ工業的ノ發明デアアルカドウカト云フコト、從來ノ大體ノ觀念ガゴザイマスガ、各此場合ニ臨ミマシテ其中ニ入ルカ、ドウカト云フコトニナッテ來ルト、餘程問題ニナラウト思ヒマスルノデ、一概ニ概括致シマシテ皆ナ當然ニ含ムモノデアルト云フコトハ申上ゲ惡イカト思ヒマスルガ、先ツ多クハデス、含メ得ルコト、考ヘテ居リマスデゴザイマス

○清瀬一郎君 ソレカラ此一條ノ中デ、其ノ發明ニ付特許ヲ受クルコトヲ得ト云フ結文デアリマス、是ハ特許ヲ受クルダケデハ、如何ナル事デアアルカ内容ガ少シモ分ラヌノデアリマス、現行ノ法律デハ本法ニ依リ特許ヲ受クルコトヲ得ト云フコト多少内容ヲ現ハシテ居ルノデアリマスガ、現法案ナル改正案デハ、後ニハ段々進シテ行クコト云フ、特許權ト云フ文字ヲ使ッテ、特許權ノ内容ハドウデアアルカト云フ規則ガアルノデアリマス、デアリマスカラ單純ニ特許ヲ受クルコトヲ得タダケデハナクシテ、特許權ヲ受クルコトヲ得ト云フ後ニ其特許權ト云フモノハドウ云フモノデアルト云フコトニセラレタ方ガ宜クハアリマセヌカ、單ニ特許ヲ受クルコトヲ得ト云フコトデハ、殆ド一條ハ無用ノヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、殊ニ此實用新案法ト對照シテ見マスルト云フ、實用新案ハ登錄ヲ受クルコトヲ得ト云フコトニナッテ居ル、特許法ハ然ラバ登錄ヲ受ケヌノコト云フ、特許權ト云フ登錄ヲシテ、特許權ト云フ登錄ニ依ッテ發生スルコト云フ法文モアルノデアリマス、此特許ヲ受クルコトヲ得ト云フ規則ハ、一方デハ特許ノ内容ヲ示シテ居ラス無意味ナモノデアリ、他方ニ於テハ實用新案法ノ第一條ノ登錄ヲ受クルコトヲ得ト云フ規則ナド、不揃ニナルヤウニ考ヘラレマスルガ、是ハ如何ナル御解釋デアリマセウカ

○宮内府委員 特許ヲ受クルコトヲ得ト申シマスルノハ特許ノ行政處分ヲ受クルコトガ出來ルト云フ意味デアアルノデゴザイマス、審査官ガ特許スベシト査定ヲ致シマシテ、ソレニ依リマシテ登錄ヲシテ、サウシテ權利ガ發生スルノデゴザイマスルガ、特許査定ヲナシ登錄ヲシテ、サウシテ權利ヲ發生セシムルコトガ出來ルト、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、實用新案法ニ於テハ登錄ヲ受クルコトヲ得ト書イテアリマス、ソレト歩調ハ全ク合致シテ居ルノデアリマス、少シモ其間

ニ抵觸スル事ハナイト思ッテ居リマス、ソレカラ特許ノ内容ヲ示シテナイト云フコトデゴザイマスルガ、其發明ニ就テ特許ヲ受クルコトガ出來ルトデゴザイマス、發明其モノガ特許ノ内容ヲ爲シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ本法ニ依ルト云フコトヲ制タノハ何故カト云フ御尋デアリマスガ、當然本法ニ依ッテ特許ヲ受ケベキモノデアッテ、他ノ法律ニ依ッテ受ケヤウトシテモ他ニ法律ハゴザイマセヌノデスカラ、其點ハ何等制リマシテモ現行法ト差違ハナカラウト考ヘテ制タノデアリマス

○清瀬一郎君 發明ノ特許ヲ受クルコトヲ得ト云フノハ意義ヲナサヌノデ、發明ヲ專用スル特許ヲ受クルト云フ意味デアリマス、發明ダケヲ特許スルト云フコトデハ、發明スルコトヲ許サル、ヤウニモ考ヘラレル、發明ヲ專用スル特許ヲ受クルト云フ意味ニ私ハ考ヘマス、ソレカラ實用新案ノ專用關係モ矢張專用ノ特許ヲ受ケテ居ル、ソレヲ結局登錄スルノデアリマス、又特許法ノ方モ專用ノ特許ヲ受ケテ、其登錄ニ依ッテ權利ガ發生スルノデアリマスカラ、矢張不揃ヒノヤウニ考ヘマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、是ハ書キ方デアリマスガ、實ハ何方デモ宜イト思ヒマス、實際ノ事ヲ申上ゲマス、現行法ニ依ッテ來タノデ斯ウ云フ形ニナッテ居リマスガ、第二ノ御尋ノ實用新案ト云フモノハ、土臺名ノ附ケ方ガ惡イト言ハレルカ知レマセヌガ、實用新案ヲ受ケルコトヲ得ルト云フモノモ餘程變ナモノデ、ドウモ日本ノ口調カラ斯様ナコトガ生レテ來タラウト思ヒマス、如何ニモ體裁ノ上カラ言ヘバ雙方不揃ノヤウニ見エマスガ、現行法モ斯様ニナッテ居リマスシ、之ニ依ッテ法律上ノ疑義ガ起ルト云フコトハナイト認メマシテ、是デ原案ガ出來タモノト御承知ヲ願ヒマス

○清瀬一郎君 第三條ニ、化學方法ニ依リ製造スベキ物質ト云フノハ、ドウ云フ意味デアリマスガ、私ハ反對スルノデハアリマセヌガ、恐ラク獨逸ノ特許法カラ御採リニナッタモノト思ヒマス、後日ノ爭ヲ避ケン爲メニ政府委員ノ御意見ヲ聽イテ置キマスガ、化學方法ト云フノハドウ云フコトヲ言ハレルノデアアルカ、或ハ石鹼ヲ造ルニモ、物ヲ晒スニモ、大抵ノ工業ハ多少酸化作用等ヲ含シデ居リマスガ、ソレ等ノモノヲ特許セヌト云フコトニナリマス、其範圍ガ狹クナリハセヌカト云フ疑ヒガ起リマス、後日ノ疑義ヲ避クル爲メニ簡單ニ此際御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス、是非非常ニ疑義ノ起ルコト、思ヒマスカラ、化學上ノ發明ハ是ハ工業的發明デ、大ニ獎勵スベキモノデアリカト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス

○宮内府委員 化學方法ト申シマスノハ、是ハ私共カラ申上ゲテハ甚ダ僭越デアリマスガ、斯様ナコトデアアルサウデス、化學方法ト申シマスノハ、物質ノ素性ヲ變化シテ全ク異タ

新規性質ヲ有スル物質ヲ生セシムル方法ヲ言フノデアル、
斯様ナコトニ承テ居リマス、ソレデアリマス、カ化学方法デ
ハ、原料トシテ使用シタ物質ト全ク違フ新規ナ物質ガ生ズ
ルト云フコトニテ居リマス、是ハ大正五年ニ開カレマシタ
聯合國ノ委員會ニ出席ノ委員カラ提案ガアリマシテ、是等
ノ物質ニ對シテ權利ヲ附與スルト云フコトハ宜シクナイト云
フノデ、第三者ガ是マデ起テ居ル化学的方法ニ比較シテ一
層優良ナル方法ヲ發明シテ、サウシテ廉價ナル物質ヲ造ル
コトガ出來ルト云フ場合ニ於テモ、ソレヲ物質ニ與ヘテシマ
ヒマス、幾多ノ有利ナル優良ナル方法ヲ阻害スルコトニナ
リマス、物質ニハ與ヘヌヤウニ致シマシタ、公益上他ニ新
規ナル方法ガ出タナラバ、ソレニ對シテ權利ヲ附與シテヤラ
ウト云フ精神カラ來タコト、承知致シテ居リマス、之ニ對シ
テハ物理的方法ガアルサウデアリマス、ソレハ物質製造ノ
方ニハ何等ノ變化ヲ及ボシマセヌデ、異ナタ状態ヲ呈スル
ト云フコトニ相成ルサウデアリマス、化学的方法ニ依テ製造
致シマシタ物質ニ就テ權利ヲ附與セザル理由ハ、サウ云フ理
由デアルトコトヲ承知致シテ居リマス、併シ中ニ六ヶシイ事デ
アリマシテ、私共ノ説明致兼ネマス所ハ、他ノ其途ノ人カラ
申上ゲテオ宜シウゴザイマス

○清瀬一郎君 第五條ニ就テ、是ハ他ノ條ニモ牽聯シテ居
リマス、第五條ノ始メニ「特許ヲ受クルノ權利」ト云フ文字
ガ出テ居リマス、ソレ故ニ此所デ御尋スルノデス、是ハ十二
條ニモ牽聯シテ居リマス、十二條ニハ「特許ヲ受クル權利ハ
之ヲ移轉スルコトヲ得但シ擔保ニ供スルコトヲ得」トアリ
マス、先ヅ特許ヲ受クルノ權利ト云フモノハ、此法案デハ如
何ナル性質ノ權利トシテ御立テニナテ居リマス、非常ニ
重大ナル關係ニナリマス、即チ發明スレバ夫レ自身デ特許
以前ニ一種ノ特許ヲ受クルト云フ私權ガ出來テ、ソレハ第
三者ニ讓渡モ出來ル、差押ヲ受ケルコトモアル、斯様ナ一
私權ト見テ、サウ云フ關係デ特許ヲ受クル權利ト云フコト
ニナテ居リマス、或ハ又特許局ニ向テ特許ヲ請求スル權利
ト、訴訟法ニ謂フ權利ト云フ意味デハ、公權ト云フヤウナ風
デ特許ヲ受クル權利ト云フコトヲ使テアリマス、是ハ他ノ
法條ニモ關係致シ、後日各種ノ解釋ヲ生ズル源デアラウト
思ヒマス、何方デモ宜イカラ明確ナル御答辯ヲ得テ置キ
タイト思ヒマス

○宮内府委員 只今ノ御尋ハ特許法中ノ難問デアリマ
シテ、外國ニ於テモ特許ヲ受クルノ權利ニ就テハ多數ノ説
ノアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、先ヅ發明ヲ致シマス
レバ、ソレニ依テ一種ノ私權ガ發生シテ、發明權ガ發生致
シマス、是ハ私權デアリマス、第二ニ其發明ヲ自分ガシタノ
デアルト云フ一ノ名譽權ト申シマス、所謂人格權ガ發生

シマス、而シテ更ニ官廳ニ向テ特許ヲ受クルノ請求ヲ爲ス
コトガ出來ル所ノ一ノ權利ガ發生致シ、更ニソレニ依テ特
許ヲ受ケレバ專用ノ權利ガ發生スルト云フ學說ガアリ、又大
分行ハレテ居ル説カノヤウニ承テ居リマス、現行法ニ於テ
ハ特許ヲ受クルノ權利ト云フ文字ガゴザイマス、改正法ニ
於テモ矢張特許ヲ受クルノ權利ト書イテゴザイマス、其意
味ハ矢張同ジデアラウト思ヒマス、特許ヲ受クルノ權利ニ就
キマシテハ、或ハ特許ヲ請求スル一ノ公權デアアル、公權デア
ルケレドモ、其中ニ財產權ノ意味ガ含マレテ居テ、一面ニ於
テハ私權デアアル、公權ト私權ト合サタマレデアルト云フ説ガ
アルヤウニ思ヒマス、或ハ單純ニ私權デアアル、特許ヲ願フ條
件ノニ特許ヲ受ケラレト云フ、其關係ノミヲ見テノ私權
デアルト云フ説モアルヤウデアリマス、免ニ角特許法上ニ
於キマシテハ、私權ト云フ觀念ヲ以テ立テラレテアルコト
考ヘテ居リマス、即チ一ノ財產權デゴザイマシテ、發明ヲ致シ
マスレバ特許ヲ受ケ得ラレ、即チ獨占權ヲ附與サレト云
フ、一ノ財產上ノ關係カラ見マシテノ、私法上ノ關係カラ見
マシテノ私權デアラウト考ヘマス

○清瀬一郎君 明確ナル御答辯ヲ得テ満足致シマシタ、
私權ナリトスレバ此特許法ノ全體ノ組立ニ大分影響シヤ
ウト思ヒマス、何トナレバ之ニ就テ此權利ノ有無ヲ定メルコ
トハ、矢張私法ノモノニ相成リマス關係上、特許出願ノ
印紙、審判請求ノ印紙ハ、憲法ニ依ル行政上ノ手数料デハ
アリマセヌカラ、此法律デ定メナケレバナラス、又特許印紙
法ノヤウナモノヲ必要トスルト思ヒマス、又審判官ヲ終身ニ
スルトカ、誰ヲ審判官ニスルトカ云フコトハ法律デ定メルト
差支ヲ生ズルト思ヒマス、是ハ向ホ各條ニ於テ質疑ヲ致シ
タイ積リデアリマス、政府ニ於テモ御考慮ヲ願ヒタイノデ
アリマス、又本法ニ於テハ第八條ニ最先ニ願フ者ガ特許權
ヲ得ルコトニナテ居リマス、所ガ他人ノ發明ヲ盗ンダ者ガ出
願スルト云フ場合ニハ、特許ノ請求權ガ一ノ權利デアルト
スレバ、ソレヲ取戻ス方法ガナケレバナラスト思ヒマス、斯様ナ
關係ハ總テ考慮サレテ居ルノデアリマス、要スルニ私權ト
シマス、特許局ノ手数料ハ法律ヲ以テ定メナケレバナラス
コトニナリマス、憲法第六十二條ノ上ニ於テサウ云フコトニ
ナリマス、又私權ハ之ヲ取戻ス方法ガナケレバナラス、左様
ナコトヲ御考慮ニナテ居ルカ、此二點ヲ確メテ置キタイ

○田中政府委員 御答致シマス、先程宮内府委員カラ
御答致シタコトハ、要スルニ此特許法ト云フモノニ就テ色々
學說ガアル、又私權ト認メル説ヲ唱ヘテ居ル者ガ多イト云
フ意味合カラ御答シタモノト思ヒマス、私自身トシテハ所謂今
日諸君ノ前ニ提出シテ居ル特許法全體ノ上カラ見マスル
ナラバ、是ハ矢張一種ノ公權ト見タ方ガ理窟ニ適テ居ルト

認メテ居リマス、併ナガラ此法律ニハ公權デアルトカ、私權
デアルトカ云フコトハ書イテアルノデアリマセヌカラ、丁度
御尋ノ後段ニアリマシタ如ク、特許ヲ受クルノ權利ト云フモ
ノハ、所謂官廳ニ對シテ、特許局ニ對シテ此法律手續ニ從
テ許可ヲ受ケル權利ト私ハ見テ居ルノデアリマス、各々學說
ノアルコトデアリマス、ソレ等ノコトハ此法案ニ於テ必ズシ
モ判然ト規定スル必要ハナイト認メテ居リマス、此法律ダケ
ノ範圍ニ於テモ、或ハ私ノヨウナ解釋ヲ取ル者モアリ、或ハ
又更ニ進シテモト大キナ權利デアルト云フヤウナ學說モ出
ヤウカト私ハ思ヒテ居リマス、其點ハ向ホ吾々ノ方ニ於テモ研
究致シマス

○清瀬一郎君 之ヲ定メマセヌト審判官ノ忌避トカ、證據
調、或ハ特許印紙法トカ云フコトノ立法ガ立タヌヤウニ思
ヒマス、餘程前提ニナルベキ問題ト思ヒマス、宜シク御考
慮ヲ願フテ置キタイト思ヒマス、本日押問答ヲ致シテ盡キマ
イト思ヒマス、

○宮内府委員 向ホ御答致シテ置キマス、官廳ニ對
シテ特許局ニ對シテ請求スルノハ、行政處分ヲ請求スルノデ
アリマス、行政處分ヲ請求致シマシテ或條件ノ下ニ特許ガ
許サレタナラバ、將來ニ於テ特許權ガ發生スル、斯様ナ條件
附ノ意味ニ於キマシテ、一ノ發明ニ對スル權利ヲ持テ居ル
所ノ權利者ノ私法上ノ權利ヲ私ハ私權ト申シマシタ、固ヨ
リ特許局ニ對シマシテ特許處分ヲ請求スルノモ私權トハ申
シマセヌ

○清瀬一郎君 特許局ノ問題ガ出マシタカラ一寸承リマ
ス、第十二條ニ「特許ヲ受クルノ權利ハ之ヲ移轉スルコト
ヲ得」トアリマス、是ハ差押ガ出來ル御積リデアリマセウカ
是ハ民事訴訟法第五百七十條第十二號ニ關係スルト思
ヒマス、

○宮内府委員 差押ハ出來ナイ考デアリマス

○清瀬一郎君 ソレハ御解釋デアリマス、或ハ民事訴訟
法ノ方カラデアリマス

○宮内府委員 民事訴訟法ノ方カラ參リマス
○清瀬一郎君 民事訴訟法第五百七十條第十二號ニ、
之ニ債務者又ハ其ノ家族ノ未タ公ニセサル發明ニ關スル
物及ヒ債務者又ハ其ノ家族ノ未タ公ニセサル著述ノ稿本ニ
是ハ訴訟法ノ解釋デアリ發明ニ關スル物ト云フモノハ特許權
デアルト云フコトニナテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ實用新
案ノ方ニ此發明ト云フ文字ヲ用井ルコトモ困難デアリマス、
私モ特許ヲ受クル權利ハ差押ヲ許サヌ方ガ宜イト云フコト
ハ政府委員ト同様デアリマス、是ハ特許法ノ明文ニ基ク
モノト考ヘルノデアリマス、御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス

○田中政府委員 其質疑ノ點ニ就テハ、政府委員ニ於キ

マシテモ十分考慮シマス

○委員長(島田俊雄君) 一寸清瀬君、貴方許リデアリマセヌガ、段々訴訟法ナドノ術語分出マス、此際ニ申上デマシタヤウニ速記ガ非常ニ困難ヲスルデアリマス、又質問ノ短イ場合ニ應答のニナリマス、尙ホ速記ガ六ヶシクナルト思ヒマスカラ、區切リヲ附テ御遺リ下サルコトヲ望ミマス

○清瀬一郎君 第十二條ノ同ジ法文中ニ「但シ擔保ニ供スルコトヲ得ス」トアリマス、是ハ現行法ニモアル文字デアリマス、擔保ト云フコトハ實ハ法律語ナクシテ經濟上ノ言葉デアリマス、法律ノ方デ言ヘハ何ヲ含ムノデアルト云フコトノ御釋明ヲ得タイ、民法ニハ質權トカ、先取特權トカ、抵當權トカ、ソレノ擔保ノ項目ガアリマス、又此項ハ賣渡擔保ト云フコトガアリマスガ、法律カラ言フト何ヲ云フノデアリマスカ

○宮内府委員 質權モ入リマス、先取特權モ——此擔保ト云フ文字ノ解釋デアリマスカ

○清瀬一郎君 サウデス、私ノ意見ハ此擔保ト云フ文字ハ法律語デナイカラシテ、失張今日民法ニ質權トカ、或ハ先取特權トカ、抵當權トカ云フ擔保項目ガアリマスカラ、ソレ等ヲ現ハサル、ヤウニナサルカ、此處デ其意味ヲ明言サレテ置カル、方ガ宜クハナイカ、此頃ハ裁判所デ色々ナモノヲ擔保ナリト言ヒマス、故ニ尋ネテ置クノデアリマス

○宮内府委員 是ハ法律語デナイカモ知レマセヌガ、主トシテ質ノ方ヲ考ヘテ居リマス——質權ノ事ヲ考ヘテ居リマスノデアリマス、ソレニ供スルコトガ出來ヌト云フ意味デアリノデゴザイマス

○田中府委員 一寸補ッテ置キマスガ、質權ト云フノハ俗ニ云フ質權寧口抵當權ノ場合ガ多カラウト私ハ信ジテ居リマス

○清瀬一郎君 ソレハ了解ハ致シマセヌガ、承テ置キマス

○委員長(島田俊雄君) 清瀬君、マダアリマスカ

○清瀬一郎君 マダアリマス、五條迄質問シテ居リマシタガ、特許請求權デ外レテ居リマシタガ、更ニ七條ニ戻リマス此七條ノ一發明、一特許ノ主義ハ賛成デアリマス、是非是ハ斯ウシナイト云フト、發明ノ範圍ニ關シテ年々爭ガ起リマス、唯ダ折角此大原則ヲ御採リナリマシタガ但書ニ於テ但シニ以上ノ發明ガ牽連シテ利用上一發明ヲ爲スモノト認メ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラスト云フ重大ナル但書ガアリマス、今日實際ヲ申シマスルト云フト、二ツ以上ノ發明ガ特許ニナッテ居ル場合ニ牽連シテ居ラヌモノガナイ、皆牽連ヲスルガ故ニ、二ツモ、三ツモ、四ツモ、一ツノ發明ヲ一度ニ書込ムノデアリマス、此但書ガアリマスと云フト結局ハ一發明一特許ト云フ主義ハ貫徹サレズニ、今日ト同様ニ相成ラウト思

ヒマス、サレバトテ一ツノ機械ニ就テ五ツモ、六ツモ特許ノ出願ヲサスコトハ事實是ハ問題デアリマス、之ヲ調和シテ實行シ得ベキ修正ヲ爲スノニハ、私ハ牽連シタル二ツ以上ノ發明ヲ一特許デ許ス場合ニハ、其二ツ以上ノ發明ナルコトヲ明カニ明示スルト云フコトガ、寧ロ必要ナル條項デアリマス、即チ此但書ニ於テ二ツ以上ノ發明ヲ特許書ニ併合サレル場合ニハ、如何ニ取扱フト云フ御都合デアリマス、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ又ハ局ノ方針デアルト言ハル、ノデナクシテ、法律ニ或ル分界ヲ御決メニナル必要ガアリマス、斯ウ云フノデアリマス

○宮内府委員 只今ノ御尋ハ、是ハ請求範圍ニ於テ牽連シテ居ル所ノ二ツ以上ノ發明ヲ限ルノデアリマス、特ニ法律ニ明示シナクテモ宜イダラウ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、唯ダ此二ツ以上ノ牽連致シマスル發明ガ、而モ事業上ニハ一發明デアアル、即チ同一ノ方ニ向テ、サウシテ共同ニ働イテ行クト云フヤウナモノデアリマシタナラバ、之ヲ一願書ノ二纏メテ宜イダラウ、斯ウ云フ考デア出來テ居ルノデアリマシテ、御話ノヤウナ請求範圍ノ緩カニナッテ來ルコトダラウト考ヘテ居リマス

○清瀬一郎君 是ニハ意見ガアリマスガ、後日討論ノ際ニ申シマス、實際ニ御關與ニナシ、今泉君ナドハ定メテ御意見ガアルト思ヒマス、重要ナ事ト思ヒマスカラ御考慮ノ願ヒタイ、次ニ第八條ノ方ニ移リマス「同一發明ニ付テハ最先ノ出願者ニ限リ特許ス」其次ニ「但シ同日ノ各別ノ出願者アルトキハ出願者ノ協議ニ依リ特許シ協議調ハサルトキハ共ニ特許セス」トアリマス、是ト同様ノ規則ガ現行法ニアリマス、協議調ハサルト云フコトデアリマスガ、之ヲ或ル期間ヲ定メルト云フト、協議ト云フモノハ初メノ意見ガ協議デアリマスガ、只タ接近シテ來ルカ來ヌカデアリマスガ、是ハ矢張法律改正ノ際デアリマスカラ、一定ノ期間ヲ定メテ、期間内ニ調タト云フコトヲナサレト——絕對ニ調ハサルト云フト、極端ニナルト五年デモ、十年デモト云フコトニナラウト思ヒマスガ、如何デアリマス、一定ノ期間ヲ御附ケニナル御意見ハアリマスマイカ

○宮内府委員 ソレハ法律ニ於テ期間ヲ別ニ規定致シマセヌデモ、協議シテ來イト申シマスル際ニ期間ヲ指定シテサウシテ協議サセル積リデゴザイマス

○清瀬一郎君 斯ノ如ク共ニ重大ナル權利上ニ及ボス事デアリマスカラ、其當時扱フ手心デ三日間ニ協議セヨト云フテ濟ム場合ガアリマセウ、併ナガラ一月トカ、三月トカ云フ期間ノコトハ甚ダ認定ノ困難ナ事デアリマスカラ、矢張今日ノ法治國ノ法律トシテハ、法律デ以テ相當ノ期間ヲ定メルコトヲ希望致シマス、ソレカラ十條ニ參リマス、是ハ簡單デア

リマスガ、十條——十一條ニ「冒認」ノ文字ガアリマス、是ハ現行法ニモアリマスガ結局舊刑法カラ來タ文字デ、現行ノ刑法デハ廢メテ居リマス、私共昔シ舊刑法ニ入ッテ居タノデ忘レテシマヒマシタガ、是ハ如何ナル意味デアリマセウカ

○宮内府委員 他人ノ承諾ガイサイマセヌノニ、其權利ヲ自分ノモノトシテ、サウシテ出願スルト云フヤウナ場合ガ承認ト云フコトニナリマス

○清瀬一郎君 サウスルト始メノ「特許ヲ受クルノ權利ノ承繼人ニ非サル者」ト同ジニ歸着致シマセヌカ

○宮内府委員 ソレハ權利ノ承繼人ト云フ方ハ、十二條ノ三項ニ承繼關係ノ事ガ出テ居リマスガ、是ハ對抗ノ要件ガ備タト云フダケノモノヲ見テ居ルノデアリマスカラ、孰レモ冒認シタルデアリマセヌデモ、矢張權利ノ承繼人ニナルト云フコトガ出來ルト思ヒマス

○清瀬一郎君 是ハ田中府委員ニモ、宮内局長ニモ御相談デアリマスガ、斯様ナル六ヶシイ文字ヲ用ヰズニ他人ノ權利ヲ剽竊スルトカ、權利者ニ非ズシテ權利ヲ主張スル者トカ云フ文字ニ御變ヘニナッテ如何デアリマセウカ、舊刑法ガ施行サレテ居レバ冒認ト云フ意味モ民間ノ傳ハリマスガ、今日ハ斯様ナ文字ハ專門家ト雖モ殆ド忘却シテ居リマス、況ヤ他ノ法律家以外ノ人ニハ全ク分ルマイト思ヒマス、自ラ發明者ニ非ズシテ權利ヲ主張スルトカ、何トカ云フ文字ガアラウト思ヒマス

○田中府委員 御答致シマスガ、御察シノ通り只ダ現行法ニアルモノヲ其儘移シタルノデ、因縁ヲ尋レバ古イ言葉カ知レマセヌガ、同じ意味ニ於テ御修正下サルコトハ異議ハアリマセヌ

○清瀬一郎君 ソレカラ十一條デアリマス、是ハ他人ノカラ聽イテ吳レト云フコトデアリマスガ、此十一條ニ承繼人ノ場合、今問題ニナリマシタ冒認ノ場合ト云フモノガ規定シテアリマシテ、後日ハ正當ナラザル特許權ガ無効ニナルト、眞ノ權利者ノ權利ト云フモノガ元ヘ適デ發生スルト云フノガ全體ノ趣意ノヤウニ思ヒマス、是ト同ジ取扱ヲ受ケル者ガ今度先願者ト云フコトニナルト、特許局ニ於テ誤ッダ先願ト云フコトニナレバ、後願者ノ權利ヲ與ヘル、ソレガ爲メニ先願者ガ攻撃サレテ、前ノ權利者ガ惡イノデアリマス、只ダ先願後願ト云フ様ニ致サネバナラスト思フノデアリマス、ニナル、是モ十條ト同様ニナルト、物ノ前後ヲ誤マルコトハ無イデハナイカト云フ風ニ御説明モアラウト思ヒマスガ、矢張先願後願ノ爭モ多少起ラウト思ヒマス、二ツノハ委任狀ノ添附ガ無カッタカラ先ニ出シタモノモ後ニナルトカ、或ハ願書ノ形式ガ間違ッテ居タカラ先ニ出テ居ルケレドモ後ニナルモノデアルト云フ風ノ解釋問題ガ起リマセウ、十條ト同様ナ扱ヲ受ケル所

ノ承繼人、圖認ニツノ場合ニ限ラス、眞ノ先願者ガ自己ノ先願ヲ主張シテ特許ヲ取消シ得タ場合ナドモ此中ニ入りハシマスマイカス様ニ思フデアリマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、是モ御質問ノ通りデアリマシテ、根本主義ノ上カラサウニ云フ前後ヲ誤タモノニ是ト同ジ主義ヲ適用スルコトニ就テハ、別ニ異議アルベキ問題デアリマセヌ、併ナガラ其前後ヲ誤ルガ如ク、如何ニモ飛離レタ間違ヒ方ト云フモノハ殆ドアルマイ、殊ニ又サウ云フ

間違ノ處分ヲシタナラバ、其際ニ間違ハレタ人ハ、抗告審判ヲスルトカ、ソレヲ公示スル途ハ此法律ニアル位デアリマスカラ、後ニ至テ前後ヲ顛倒スルヤウナコトノ起ルハ、減多ニナカラウト、斯ウ云フ心持デ其規定ガ無イデアリマス、併ナガラサウニ云フ事ガアリ得ルトシテ、其趣意ヲ御挿入ニナル御考デモアリマセバ、其主義ニ於テ何等異論ハナイデアリマス

○清瀬一郎君 是ハ減多ニナイト云フコトデアリマス、今マデノ審判例ヤ判決例ヲ調ベルト矢張アル、商標事件デアリマスガ、委任狀ガ提出シテナクテモ特許局ハ先願ト認メ、片方デハ委任狀ヲ添附シテ持テ來タ、ソレデ先願後願ノ争ガ起テ、特許局ノ認メタ先願ヲ無効ニシテ、後願ヲ眞ノ出願トシテ取消シタ事ガアリマス、是ハ争ガ出ヤウト思フ、委任狀ノ場合ノミナラズ、特許出願ニハ方式ガアリマスカラ、方式ニ依ラナクハバナラヌト思ヒマス、ソレカラ矢張此條ノ中デ十條ハ六十日以内ニ出願スレバ宜イト云フデアリマスガ、十一條ノ方ノ分ハ其審決確定シ若ハ判決アリタル日後ノ出願ニ係ルトキハ此ノ限ニ在ラス、審決、判決ガ確定シテカラノ出願ガ出來ヌヤウニナテ居リマスガ、斯ウシマスト一方デ審決判決ヲ仰ギツ、他方デ出願ヲシテ置カケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルト思フ、勝ツカ負ケルカ分ラヌ、一方デ訴訟ヲシツ、矢張勝ツモノトシテ印紙ヲ貼ッテ出願シテ置カヌト、十一條ノ適用ヲ受ケヌヤウニナルカラ、矢張是モ十條ト同ジヤウナ六十日位ノ期間ヲヤッテ、審決ニ勝ッテシマツテカラ六十日以内ニ出願サレタラ如何デアラウカ

○馬場政府委員 只今ノ御質問ハ十條ト十一條ノ鈞合ノヤウニ伺ヒマスガ、十一條デハ圖認サレタ者若クハ權利ノ承繼人ナリト稱スル者ガ審判ヲ起シマストキニハ、自分ハ審判ノ結果ニ依ツテ勝ツト云フコトガ分リ得ルデアリマス、勝ッテバデスネ、負ケマシテモ免モ角自分ガ眞ノ發明者デアルト云フコトヲ主張シテ居ルデアリマスカラ、其時ニ出願スレバ審決ガ確定前ニ十分出來得ル筈ナノデ、ソレカラ若シ他人ガ審判ヲ請求致シマスナラバ、其圖認ノ理由ニ依ツテ特許ヲ無効ト致シマスレバ、其審決確定前ニ特許局カラ通知ヲスル、ソレハ施行規則デ決メルト云フ委員會ノ決議デ、斯ウ云フヤウニナリマシタ

○清瀬一郎君 確定前ニ通知ヲナサルト云フコトハ……

○馬場政府委員 例ヘバ大審院ニ上告スル、抗告審判デ若シ其者ガ負ケマシタナラバ……無効ニナリマシタナラバ、大審院ニ行ク迄ニ豫メ通知シテ置キマス

○清瀬一郎君 大審院ヘ行ッテ勝ツカ負ケルカ分ラヌデモ……

○馬場政府委員 分ラヌデモ豫メ通知ヲシテ置カウ、ソレハ十條ノ場合デモ同ジデス、ソレハ施行規則デ定メヤウト云フノデ、斯ウ云フヤウニナリマシタ、餘リ長ク置クト其間中間ノ權利ノ切レルノハ第三者ノ權利ノ保護ガ十分デナイダラウト云フ考カラ、特ニ斯ウ云フ規定ニナリマシタ

○清瀬一郎君 御趣意ハ分リマシタ、所ガ此實際ハ大審院ヘ行ッテ事件ガ勝ツカ負ケルカ分ラヌ、極ク一寸シタ上告デ勝ツコトモアルシ、立派ナ上告デ負ケルコトモアリマスガ、若シ大審院デ棄却ニナリサウダト云ッテ通知シテ置キマシテモ、大審院ニ於テ抗告審判ハ破毀ニナリ、事件ハ抗告審判ニ差戻サレ、差戻サレタル抗告審判官ハ大審院ノ判決ニ羈束セラレ、結局負ケルト矢張無駄ナ出願ヲシナケレバナラヌコトニナリマス、是ハ矢張六十日以内ニ出願セシムル制度ヲ認メラレンコトヲ希望スルデアリマス、案外大審院ノ裁判ハ豫測ガ付キマセヌカラ、特ニサウ云フヤウニ願ヒマス、ソレカラ次ハ第十三條デアリマス、是ハ期間ノ計算法其他デアリマス、内容ヲ拜見シマス、民法ノ規則ト大シテ違ハヌノ上ノ適用モ受ケ、特許法モ出願スルデアリマスガ、太シテ違ハヌ事デアリマス、矢張法制統一上、民法ノ計算ノ期間ニ御譲リニナタラ如何デアリマセウカ、私ハ是ノミナラズ期間ノ計算其他民法又ハ民事訴訟法ニアル事ハ、總テ成ベクナラバソレニ統一シテ準用スルヤウニセヌト、同ジ一週間ノ期間ト云フノデモ、人民ノ特許カラ經過セヌノ、裁判所ダカラスルノ、民法ダカラドウト云フコトニナッテ、何時モ期間ノ計算ガ違フト云フコトハ、子供ノ教育ニモ煩雜デアリマスガ、斯ナ事ハ議論ノ問題デナイカラ、民法ノ期間ニ計算サレンコトヲ希望スルデアリマスガ、矢張特許局ダケハ期間ヲ別ニシテ置カネバナラヌデアリマス、其後ニ出ル中斷トカ中止トカ、云フノモ同ジデアリマス

○馬場政府委員 此十三條ノ期間ノ計算ハ現行法ニハゴザイマセヌ、辯護士諸君カラノ御注文モゴザイマシテ、何カ此期間ノ計算ト云フコトニ就テ定メタ方ガ宜カラウト云フ御希望モゴザイマシタノデ、サウシテ民法並ニ民事訴訟法ヲ参照致シマシテ十三條ガ出來タノデアリマス、ドウ云フ所ガイテナイト云フ御趣意デアリマス

○清瀬一郎君 イケナイ、イケルト云フ趣意デヤナイ、多數

ノ期間ヲ置クト云フコトハ人民モ困ルシ、子供ノ教育ニモ困ル、期間ノ計算ハ議論ノ無イコトデアリマス

○馬場政府委員 ソレハ民法ト民事訴訟法トモ幾分違ッテ居リマス、而シテ手續ヲ爲スコトニ就テハ、辯護士諸君ノ方ハ民事訴訟法ノ方ハ能ク採ラレルラシイ、成ベク民事訴訟法ト一ツニシテ貫ヒタイト云フ希望ガアリマシタノデ、寧ロ是ハ民事訴訟法ノ方ニ倣ッテ居ル譯デアリマス、ソレハ民法第四百四十條及民訴第六十五條並ニ第六十六條ヲ御参照ヲ願ヘバ分リマス

○清瀬一郎君 私共ハ民法ガ宜イカ民事訴訟法ガ宜イカ分リマセヌ、特許法ノ期間ヲ別ニサレルコトハドウカト云フノデ、差當リ民法ガ宜イカ民事訴訟法ガ宜イカト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ

○馬場政府委員 此十三條ハ第一項ト第二項トハ大分性質ガ違ッテ居ルデアリマス、サウシテ特ニ書分ケマシタノデ、頭カラ特許ニ關スル總テノ期間ガ民法ニ準用スルトカ、或ハ民事訴訟法ニ準用スルトカ云フコトハ如何デアラウカト思フノデ、特ニ書分ケタ次第デアリマス、一方ハ手續期間、一方ハ法定又ハ指定期間、一項ト二項ト書分ケテゴザイマス、其處ニ御注意ヲ願ヒタイデアリマス

○清瀬一郎君 ソレハ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、餘リ澤山デ期間ノ計算法ヲ覺エルコトモ困難デアル、ソレカラ第十四條ハ先ヅ大變ナ煩雜ナ六ヶシ規則デアリマス、私モ能ク腹ヘ入ッテ居リマセヌカラ、間違ッテ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス、第十四條ノ第一項デアリマス、先ヅ第一項ニ就テ發明ガ任務ニ屬スル場合ハ主人ノ方、任務ニ屬セヌ場合ハ使用人ノ方トカ云フヤウナ精神カ書分ケテアルヤウデアリマス、之ニ反スル勤務規程ハ無効トスルト云フノ原則ヲ作ッテアルガ、勤務ニ關スル關セヌト云フコトモ、是モ私ノ營業デアリマス會社ナドニ於テハ、技師ヲ採用スル際ニ發明スルコトハ技師ノ任務トシテ置ケバ、直グ任務ニナッテシマフ、ソレ故ニ第一項ノ規則ハ甚ダ脫法ノ容易ナル規則デアリマス、イカ、勤務規定ノ條項ハ之ヲ無効トスト書イテ居ルケレドモ、是ハ實用ノ出來ナイ頭隠シテ尻隠サズノ法律デハアルマイト思フノデス

○馬場政府委員 此十四條ハ各國ノ法令ヲ參照致シマシテ、且ツ日本ノ實情ニモ適シタ積リデ、特ニ此法律改正ノ委員會ニ於キマシテモ、特別委員ヲ設ケテ回ヲ重ヌルコト數十回デ出來上ツタモノデアリマシテ、只今清瀬君ノ御質問ハ勤務ニ屬スル場合ハ斯ウアル、勤務ニ屬セザル場合ハ然ラズト云フヤウニ御取リニナタヤウデアリマスガ、是ハサウデアリマセヌ、勤務ニ屬シテ居ル場合デ、而モ業務範圍ニ屬シテ居ル發明デアル、此任務ニ屬スルト云フコトハ發明ヲナスト

云フ勤務デナイノデアリマシテ、發明ヲ致シタル行爲ガ其勤務ノ行爲ヲ爲シツ、アル間ニ發明ガ出來タ、斯ウ云フ考デアリマス、其場合ト雖モ尙ホ且ツ勤務規程又ハ契約ニ依テ工場主ニ移轉スル、若クハ其他ノ注意ガナケレバ矢張發明シタ者ガ特許ヲ受ケルノ權利ヲ有スルノデアリマス、其代リニ勤務ニ屬シ又業務範圍ニ屬シ居ル場合ニハ、發明者タル被備者ガ特許ヲ得マシタ時ニ、工場主タル企業者ガ當然法律上ノ實施權ヲ有スル、又特別ノ規程ニ依テ職工若クハ技師ガ發明ヲシタモノニ就テ企業者ガ特許ヲ受ケレバ、ソレニ對シテ企業者ガ相當ノ補償ヲシナケレバナラヌ義務ヲ負擔スルコト云フコトデ、發明ヲサスト云フコトヲ契約シタモノノデアリマセヌ、又假令斯ウ云フ勤務ヲセヨト言フテモ、其勤務ヲシテ居ル時ニ出來タ發明デアリタモ、苟モ發明ガ工場主ナリ、企業者ノ業務範圍ニ屬シテ居ナケレバ矢張駄目デアル、業務範圍勤務履行ト云フ二ツガ結付イタ條件トシテ發明移轉ガスルカ、シナイカラ定メテアルノデアリマス

○清瀨一郎君 今ノ御説明デハ、其勤務範圍ト云フコトハ發明ヲスルコトガ勤務ノ場合ニ限ラヌト云フ御説明デアリマスガ、此工場デ仕事ヲセイ、且又發明モ一緒ニシテ思ハト言ヘバ、是ハ勤務ニナラウト思ヒマス、今ノ御説明ハ免ニ角トシテ、ソナ狭イ場合ハ勿論此法律ニモ、外國ノ法律ニモ規定シテアリマセヌ、發明シタ人ヲ備テ場合デハナイノデアリマス、此工場デ仕事ヲスルト同時ニ此機械ノ改良モ發明モシテ思ハト言フ場合ニハ、勤務ニ屬スルコトニナラウト思ヒマス、故ニ此十四條ヲ潜ラウト思ヘバ、技師採用ノ場合ニ其一條ヲ入レテ置ケバ、ソレデ潜ルコトガ出來ハセンカト云フノデス

○馬場政府委員 只今清瀨君ノ仰セラレマシタコトハ、固ヨリ此ノ如キ場合ハ勤務ニ屬スル事モアリマセウ、例ヘバ此工場デ働イテ思ハ、サウシテ此機械ノ改良ヲシテ思ハレト云フコトデ契約ガ出來マシタナラバ、ソレハ職工ナリ技師ナリノ勤務ニ屬スルノデアリマス、併ナガラ其發明ガ業務範圍ニ屬シナイト云フコトデアルト、其契約ガアツタガ爲ニ工場主若クハ企業者ガ特許ヲ受ケル權利ヲ繼承スルコトニナリマシタモ、相當ノ補償金ヲ支拂フコトニナルノデアリマス、現行法デハ或ル一定ノ條件ノ下ニハ當然工場主ニ歸屬シテ、何等補償ノ途ガ無カッタノデアリマスガ、改正法デハ此ノ如ク發明ガ工場主ニ移轉スル場合ニハ、其發明者ニ對シテ補償ヲ與ヘルト云フコトデ、調和ヲ取ツ考デアリマス

○清瀨一郎君 ドウモマダ諒解スルコトガ出來マセヌ、發明ヲ工場主ノ方ガ取ル場合ニハ補償ヲ與ヘルガ、同條第二項ニ於テ發明ノ實施ヲ爲ス場合ニハ補償ヲ與ヘナイコトニナレ居リマスガ、是ハ發明權ヲ繼承スル場合ニ補償ヲ與ヘ

ルナラバ、實施ヲスル場合ニモ與ヘテ宜カラウト思ヒマス、若シサウシマセヌト技師ナドガ發明ヲシテモ、其工場デ實施サレテハ詰ラヌト云フコトデ、其工場ヲ出テ、暫ク經チマシテカテ發明ヲ他ノ工場デ實施スルコト云フコトガ出來マイカ、私ハ發明繼承ノ場合ニ補償金ヲ與ヘルト云フ此規則ハ理想トハ思ヒマセヌガ、其主義ヲ採ル以上ハ、工場主ガ實施ヲスル場合ニモ同ジク補償ヲ與ヘタラドウデアラウカ、此法案デサウナレ居ラヌノハ如何ナル理由デアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○馬場政府委員 御答致シマス、職工若クハ技師ガ發明ヲ致シマシタ場合ニハ、其發明ヲスルニ至ラヌハ何ガ故ニ發明ガ出來タカト申シマスレバ、會社ナリ企業者ナリガ、其職工若クハ技師ヲシテ自己ノ工場内ニ於テ一定ノ仕事ヲシテ貰フト云フ、所謂勤務ヲ與ヘテ、其勤務ノ履行中ニ出來タ所ノ發明デアリマス、且又其發明タルヤ其工場ト何等關係ノ無キモノニ非ズシテ、其工場若クハ會社ノ業務範圍ニ屬スルモノデアリカラ、其職工ナリ技師ガ發明ヲシテ、ソレデ得マシタ所ノ特許權ナルモノハ、會社ニ雇備サレテ居タ關係ガ特許ヲ得マシタモノ、ソレノミデ其繼承者ガ其發明ヲ實施スルコトハ出來ナイ、ト云フノハ、ソレハ所謂企業ノ原理ニ反スルト云フ考カラシテ、此ノ如キ場合ニハ無補償デ實施權ハ工場主ニ與ヘヤウ、其代リ職工若クハ技師ハ自己ガ特許權ヲ所持スルコトガ出來ル、又職工ナリ技師ナリガ發明シタ所ノモノヲ會社ガ特許ヲ得マシタナラバ、ソレニ就テハ本來ナラバ發明シタ人間ガ特許ヲ得ルノガ原則デアリニモ拘ラズ、此規程ニ依テ工場主若クハ企業主ガ特許ヲ繼承シマシタナラバ、ソレニ就テハ相當ノ補償金ヲ與ヘル、發明シタ人ガ特許ヲ得ナイデ他人ニソレガ移轉シタノデアリマスカラ、ソレハ相當ノ補償金ヲ與ヘルノガ此調和ヲ圖ル途デアルト云フコトデ、實施スル場合ニハ何等補償ヲ與ヘズシテ當然工場主ガ實施スルコトガ出來ル、斯ウ云フ立方デアリマス

○清瀨一郎君 補償金ノ立方ノ御趣意ハ分リマシタガ、ソレハ實施ノ時ニモヤルコトニシテ、特許ヲ得タ時分二千圓、實施スル時ニハ三百圓トカ、ソレハ程度ノ問題デアリマスガ、其邊ニ就テモ御考慮願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙一箇所ダケ質問致シマシテ一旦打切りマスカラ、ドウゾ御了承願ヒマス、二十三條二十四條等デアリマスガ、是ハ私ノ疑點ヲ打ツノハ、期間ノ延長ヲ特許局長ガ爲サルト云フコトデアリマス、殊ニ疑ヲ生ズルノハ事件ガ無効審判ナリ、確認審判ナリ、審判ニ繫續シテ居ル場合ニ、期間ノ延長ヲ審判官ニ非ラザル局長ガ許否サル、ト云フコトハ、審判ノ進行ニモ大變影響シマセウシ、ソレカラ又審判中公事件ノ内容等

ニ於テ審判官コソ全權ヲ持テ居レ、局長ハ御存ジナイノガ當前デ、無理ニ御存ジナルト、是ハ行政官ノ審判干渉デアリマスカライカヌノデアリマスガ、期間ノ延長ナドハ審査中ノモノハ審査官ガ之ヲ爲シ、審判繼續中ノモノハ審判所若クハ審判長ト云フ者ガ、之ヲ爲スヤウニナサタラ如何デアリマセウカ、此點ニ就テ特ニ特許局長ニ權利ヲ與ヘラレタ別段ノ御理由ガアレバ、承テ置キタイト思ヒマス

○馬場政府委員 二十三條ニ「特許局長ハ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ云々」トゴザイマスノハ、是ハ特許局長ノ職務ヲ行フ範圍ニ於テ爲スベキ期間ノ延長デアリマス、審判長ガヤリマスノハ開ハ自ラ別個ノ規定デ、審判長ハ審判事務ヲ掌理シテサウシテ指定ノ期間ヲ設ケ、若クハ二十五條ナドニ依ッテ、法定ノ期間ヲ懈怠シタル場合ニ於テハ、審判事件ニ索連シマシテハ審判長、特許事務ニ就テハ特許局長ガヤル、サウ御承知願ヒマス

○清瀨一郎君 審査中ハ如何デアリマスカ

○馬場政府委員 審査中ハ矢張特許局長デアリマス

○清瀨一郎君 ソレハ如何デアリマセウカ、審査官ノ方ガ宜クハアリマスマイカ

○馬場政府委員 サウ云フ書類ノ配付、及發送、並ニ出願ニ就テノ期間ノ延期、若クハ法定期間ノ延長ト云フヤウナ事ハ、審査ニ關スル技術的內容ヲ見テ審査ヲスルノガ主デアリマシテ、行政事務的ノ事ハ、局長ガ爲スノガ本來デアラウト思ヒマス、サウ云フヤウニ特許局長ガ、審査中ノモノハ請求ニ依ッテ、法定期間ナリ何ナリ延長スルノデアリマス

○清瀨一郎君 從來ノ審査ト違ッテ、今度ハ審査ニ向テ抗告審判ヲヤリ、ソレニ對シテ大審院ニ出訴ガ出來ルカラ、大分審査ト云フコトガ司法的ノ性質ヲ帶ビテ參リマスノデ舊來ノ特許法ト少シ意味ガ違ヒマスカラ、是モ一ツ御考慮願ヒタイト思ヒマス、私共モ一ツ研究シテ見マス、一度是デ私ノ質問ハ打切りマス

○北井波治目君 私ハ此一章ノ中デ、唯ダ一箇所ダケ御尋ガアリマス、冒頭ニ申上ゲテ置キマスガ、此法律案ハ四案共多年ノ懸案デゴザイマシテ、當局者ニ於テモ慎重ニ調査シ、且ツ民間ノ意見モ大分容レテ御作製ニナツタノデアリマス、大體ニ於テ私共異議ハ無イ、唯タ内容ニ於キマシテ少シ疑點ガアリマスカラ、ソレヲ御尋スルニ止ママス、第十九條ニ「特許局長ニ於テ特許ニ關スル代理人ヲ適當ナラスト認ムルトキハ其改任ヲ命スルコトヲ得」トアリ、特許ニ關スル代理人ハ、特許辦理士ト云フコトニ一方ニ於テナレ居リマスガ、特許辦理士ガ代理ヲシタ時分ニ、特許局長ガ其改任ヲ命ズルト云フ事柄ハ、餘程強イ規定ダト思ヒマス、特許辦理士ノ相當資格ヲ備ヘテ、サウシテ民間ノ依頼ニ依リテ其事

務ヲ執ルノニ、局長ガ其事務ヲ執ルコトヲ禁ズルト云フヤウ
ナコトハ容易ナ事デナク、又他ノ司法裁判所ナドニ於キマシ
テモ、辯護士ガ訴訟代理ヲスルトキニ裁判長又ハ裁判長ニ
斯ノ如キ權能ヲ與ヘナイ、今迄ニモ斯ウ云フ規定ハ無カ
ヤウデアリマスガ、此點ヲ一ツ承テ置キタイト云フ、仲間ノ
要求デアリマス

○田中政府委員 ソレハサウ云フ意味デハナイデアリマ
シテ、是ハ辦理士ナラザル代理人ノ場合ニ適用スル規定デ
アリマス、辦理士ノ方ニ云々ト云フノデアリマセズ、現ニ直
グ其次ノ規定ニ代理人カ手續又ハ演述ヲ爲スノ能力ナシ
ト認ムルトキハ辦理士ヲ以テ代理セシムヘキコトヲ命スルコ
トヲ得ト云フノガアル、矢張業務トシテ居ル者ハ此度ノ辦
理士法ニ依テ、辦理士デナケレバイカスト云フ立方ニナ
居リマスケレトモ、業務デナシニ、商賣人ガ自分ノ家ノ番頭
ヲ或ル事件ダケヲ擔任セシムルト云フヤウナ、特別ノ事情ノ
爲メニ代理人ヲ許スコトガアル、サウ云フトキニ能力ノ無
者ニ來ラレト洵ニ困ル、其場合ニ處スル規定ノ積リデアリ
マス

○北井波治目君 辦理士法ヲ見マス、特許辦理士デナ
ケレバ特許ノ代理ハ出來ヌヤウニナテ居ルノデアリマス、何
カ特許辦理士以外ニ、特許ニ關スル代理ガ出來ル事デアリ
マス

○田中政府委員 辦理士法ニハ業務トスルト云フ意味デ
限定シテアリマス、第一條ニ「特許局ニ對シ爲スヘキ事項ノ
代理ヲ爲スコトヲ業トスルモノ」トストアテ、詰リ營業トシテ
此事業ニ當ルト云フノガ辦理士デアリマシテ、偶、或ル特種
ノ場合ニ其事件ノミヲ擔任スルト云フコトハ、辦理士デナ
テモ宜イト云フコトノ立方ニナテ居リマス

○委員長(島田俊雄君) 一寸關聯シテ居リマスカラ御聽
シタイノデアリマスガ、現行法モサウナテ居ルノデスガ、辦理
士以外ノ所謂個々ニ代理スル者ハ、隨分難點ナモノニナル
ノデアリマシテ、其現行法ノ規定ヲ茲ニ踏襲シテ、改正法ニ
モ認メザレト云フコトハ、議論ハ別トシマシテ、進歩トハ云
ヘナイヤウニ思フノデアリマスガ、殊ニ是ハ原則ノヤウナ風
ニ、辦理士以外ノ者ガ代理ヲシテ居ルノガ、普通ノヤウナ書
方ニナテ居ルノデスガ、是ハ代理人ハ、辦理士ガスルノガ普
通デアテ、辦理士以外ノ者ガ代理ヲスルノハ、特別ナ場合
デナケレバ出來ナイト云フヤウナ、立前ニセラレル御意思ハ
無イノデゴザイマセウカ

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今ノ取扱方ニ於キ
マシテハ、別ニシレハ制限スルト云フ考ヲ以テ規定シテ居リ
マセヌデアリマス、ソレハ矢張先程申上ゲマシタヤウナ風ニ、
自分ノ家ノ番頭デアリマス、實際其事ニ携テ居ル者、

殊ニ商賣ナドニ關係シテ居ル者ハ、實ハ主人ノ名義人ノ方
ガ一向知リマセヌノデ、實際ニ携テ知テ居ル者ハ、其使用
人デアルト云フヤウナコトガ往々ニシテアルノデゴザイマス、唯
ダ其實況カラサウ云フ者ヲ許サナケレバ差支ガ起ル、斯ウ立
方デ苟モ名前ヲ借りテ營業デモスルヤウナ者ニ就テハ、無論
是ハ法規違反デアリマスガ、併シ或ハ法制ノ立方トシテハ、
代人辦理士ナラザル者ヲシテ代人タラシメル場合ニ於テハ、
許可デモ受ケシメルト云フヤウナコトモ、一ノ制度デハナカラ
ウカト思ヒマスガ、此法案デハサウ云フ手續ナシニ出來ル意
味ニナテ居リマス

○北井波治目君 次官ノ御説明ニ依リマスレバ、能ク是ハ
民事訴訟法ニアル點デアリマスガ、特許辦理士ニハ適用セ
スト云フ但書ヲ入レ、バ明瞭ニナリマス、サウシナイト二十
條ヲ見マス、特許局ニ對シ爲スヘキ事項ノ代理業ハ辦
理士ニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ストシテアル、サウシテ第
十九條ニ「特許局長ニ於テ特許ニ關スル代理人ヲ適當ナ
ラスト認ムルトキハ其ノ改任ヲ命スルコトヲ得トアル、條文
ガ炳トシテ御説ノヤウニナテ居ラス、但書ヲ入レナケレバ御
説明ダケデハ分ラヌヤウニ思ヒマス、ソレダケ申上ゲテ置キマ
ス

○委員長(島田俊雄君) 尙ホ只今次官ノ御説明デアリマ
スガ、會社工場ノ使用人デアルトカ、或ハ商店ノ番頭トカ云
フ者ガ主人ノ代リニヤルヤウナ場合ハ、實際ノ事カラ申シマ
スト、サウ云フ時ニ事實ハ番頭ガ代理ヲシテ、支配人ガヤ
居デモ、名前ハ本人ノ名前ダケデ一向差支ナイノデ、其場
合ニ代理人ガ本人ノ名前ノ側ニ、代理人某ト云フコトヲ記
載シテ書面ノ扱ヲスルヤウナコトハ無イ、書面ノ扱ニ代理人
ト云フ名前ヲ出ストキニハ、訴訟ノ方カラ云テ、モグリ三百
ト云フヤウナ、半分位ハソレヲ營業トスル者ガ緣故者トシテ
代理ヲスル、オ前ハ何カト言ヘバ、番頭デアリマス、支配
人デアルト云テ、其出願ノ事項限リ番頭ニナリ支配人ニナル
者ガ出テ來ルコトハ、寧ろ防グコトガ宜イヤウニ思フノデス、
矢張是ハ現行法ノ規定ニ斯ウ現ハレテ居ルカラ、今ノヤウ
ナ質問ガ自然起テ來ルノデアラウト思フケレドモ、御答辯
ガ今ノヤウナ趣意デアレバ、ソレハ議論ニナルト思ヒマスガ、
尙ホ此箇條ニ就テ特別ニ御考ガアレバ、此際御聽シテ置イ
タガ宜カラウト思フ

○田中政府委員 先刻カラ申上ゲタ事デ盡キテ居ルヤウ
デアリマスガ、尙ホ答辯ノ趣旨ヲ明カニシテ置キマス、此二十
條ニアル「特許局ニ對シ爲スヘキ事項ノ代理人ハ、辦理士ニ
非ラザレバ之ヲ行フコトヲ得ス」ト云フノハ、實ハ代理業ヲヤ
ルト云フコトニ重キヲ置キマシタノデ、之ヲ業トスル者ト云フ
心持デ書イテ居ルノデアリマス、又辦理士法ノ方ノ一條ニ

ルノモ、其意味デ書キマシタノデアリマス、デ若シモ之ヲ辦理
士デナケレバナラヌト云フコトデアリマスレバ「代理業」ノ
「業」ト云フ字ヲ取テ「代理」ト云フヤウニ直シ、又第十九條
ノ「代理人」ニ云々ト云フヤウナコトハ不必要ニナテ來マスガ、
訴訟法ナドノヤウニ、總テ法定ノ代理人ニスルト云フヤウナ
コトモ一方法ト思ヒマスガ、先程申上ゲマシタ通り、現行法
デモ多少其範圍ヲ緩メデアリマス、多少商標其他ノ
事ニ就キマシテハ、自身ナラザル實際ノ業務ニ當テ居ル者
ニ、其事務ヲ取扱ハシメルコトモ必要デアルト云フ所カラ出
タノデアリマス、是ハ一ツ能ク御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○木下十四三君 私ハ第八條ニ就テデアリマスガ、極ク簡
單デゴザイマス、八條ニ依リマス、特許ニ就テハ從來ノ主
義ヲ改メテ、先願主義ヲ採テ居ラル、ノデアリマスガ、此主
義ニ就キマシテハ、私ハ敢テ反對ヲ致スノデアリマセヌガ、
此主義ヲ採ルトスレバ弊害ガ起リハセヌカト思フ、一二ノ點
ニ就テ御尋ネシテ置キタイト思フ、先願主義ヲ採リマス結
果、成ルベク早く願ヲ出ザウト云フ爲メニ、充分完成シナイ
モノマデモ出願スル嫌ガナイカ、固ヨリ未成品ヲ出願スル譯
ハアリマス、マイケレドモ、出願ヲ急グ爲メニ幾ラサウ云フ傾
向ガ起テ、徒ラニ特許局ノ手數ヲ煩ハス弊害ガ起リハシ
ナイカ、第二ニ從來ノ如ク發明ノ前後ニ依テ特許ヲ與ヘ
コトニ致シマス、此特許ト云フモノハ、成ベク國民若クハ國
家ノ方面カラ考ヘマスレバ、發明ガ特許ニナラナイノガ利益
デアラウト思フ、ソレデ從來ノ如ク發明ノ前後ニ依テ特許
ヲ與ヘルコトニ致シマスレバ、自分ガシテ發明ハ公益ノ爲メ
ニ、他ノ者ガ獨占スルコトガナケレバ特許ヲ受ケズニ置カ
ウ、併ナカラ自分ガ發明ヲシテ居ルモノハ獨占スルヤウナコ
トアレバ、其時ニ至テ自分ガ特許ヲ願ハハ、斯ウ云フ考ノ下
ニ特許ヲ差控ヘルコトガアラウト思ヒマス、是ハ國民ノ爲メニ利
益デアラウト思フ、然ルニソレガ先願主義ニナリマス、サウ
云フ餘裕ヲ得ラレナイ、成ベク早く特許ヲ願テ置カナケレ
バ他人カラ先ゼラレテ、自分ノ發明ヲ他人ニ獨占セラレル虞
レガアルカラト云フノデ、何モ彼モ出願スルコトニナリハセヌ
カ、サウスレバソレハ國家國民カラ見テ不利益ニナリハセヌカ、
ソレカラ第三ハ大體質問ノ時ニ聽クノガ至當デアラウト
思ヒマスガ、極ク簡單デスカラ此際御尋致シマス、發明ヲ獎
勵スル意味ニ於テ、國家國民ニ非常ニ必要ナル發明ヲシタ
者ニハ、之ヲ表彰スル規定ヲ設ケル必要ガ無イカ、特別ノ規
定ヲ設ケテ大發明者ヲ表彰スル必要ハナイカ、此三點ヲ御
尋致シマス

○田中政府委員 御答致シマス、發明ノ前後ニ依テ許
可ヲ與ヘル出願ノ前後ニ依テ許可ヲ與ヘルト云フコトハ一
得一失デ、弊害ノ方カラ申シマスレバ、只今御質疑ノヤウナ
事モアラウト思ヒマス、併ナカラ今日マデ發明ノ前後ト云フ

コトニ依テ處分シ來テ居ル成績カラ申シマス、前後ヲ審
査スルト云フコトハ甚ダ困難ナル、殊ニ發明者ハ秘密ニヤ
テ居リマスカラ、ソレガ何時カラ著手シテ、約ソ何月何日ニ
完成シタモノアルト云フヤウナコトハ、實際調ベルノガ困難
アリマス、非常ニ困ルノデ、是ハ寧ロ矢張此頃各國ニ多ク
アル先願主義ニ依テ方ガ、極メテ明瞭デ宜カラウ、先願主
義トシテ結果、第二ノ御尋ニアリマヌヤウナ風ニ、所謂熟セ
ザル發明ヲ出スト云フ弊モ、亦時ニ起リナイ事デハナカラウ
ト思ハレマス、併ナガラ其反對ニ熟スルマデ、緩クリ構ヘテ
己ガ早ク著手シタ物アルカラ大丈夫ダト云フコトデ、緩
クリシテ居ル中ニ、外ノ人ガ願デシマデ、サウシテ其先後ヲ
調ベルコトハ前申上デタ通り困難ナ事情ノ爲メニ、折角ノ
發明ガ權利ヲ得兼ネルト云フヤウナコトモ、反對ノ理由トシ
テハ起リ得ル譯デアリマス、ドウモ其利害得失ハ殆ド何方ガ
ドウト言デ申上デ兼ネルノデ、唯ダ明ニ困ル事ハ前申上デ
マシタ通り、先後ヲ調査スルト云フコトハ非常ニ困難ナ出來
事ニアリマス、ソレ故ニ多クノ國ノ例ニ倣ウテ、先願主義ニ
致シマシタスウ云フコトデアリマス、表彰ノ事ニ就キマシテハ、
至極當局ト致シマシテモ出來得ル限リサウ云フ途ヲ取リタ
イト思フテ居リマス、今日デモ聊カナガラ或ル發明等ニ就テ、
有益ナル發明トシテ、ソレヲ實施シタイト云フ人ノ爲メニハ、
幾分ノ補助ヲ與ヘル、今日デハ年額七萬圓ノ豫算ガゴザイ
マス、甚ダ輕少デゴザイマスケレドモ、或ル發明ヲ資力乏シイ
人ガ一ツ實物ヲ拵ヘテ、實施シテ見タイト云フ場合ニ、ソレ
ニ補助ヲ與ヘテ助ケル途ヲ開イテ居リマス、尙ホ又ソレ以上
ニ何等カノ方法ヲ以テ表彰スルト云フコトハ、出來得レバ至
極結構ナ事ト思ヒマス、無論ニハ發明協會等ニ於テモ、此
點ニ就テ色々盡シテ居ルヤウデゴザイマス、又發明ニ關スル
共進會等ガアリマシテ、褒賞ヲ與ヘルト云フヤウナ事ニ就テ
ハ、矢張其褒賞等ニ就テ農商務省カラ相當ノ援助ヲシテ居
リマス、是ハマア甚ダ些細ナモノデ、常ニ其額ヲ大キクシテ十
分ニ致シタイト云フコトヲ盡力シツ、アル譯デアリマス、第三
點ハ至極御同感ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

ト云フコトニナツタラ、甚ダ其出願者ニ對シテ氣ノ毒ノミナラ
ズ、國家ノ不利トモ考ヘルノデアリマスガ、鑛業權ノヤウナ場
合、其他何等カノ方法デ、共ニ之ヲ潰シテシマフト云フヤウ
ナコトノナイヤウニ出來ナイモノデアリマセウカ、之ヲ伺テ置
キマス

利用サレテルヤウニ考ヘマスルノデ、私ノ只今マデノ考ト致
シマシテハ、殆ド全部賛成ヲ致シタイノデアリマスガ、唯ダ一
二箇所分リ兼ネマス所ガアリマスノデ、將來ノ爲メニ其疑義
ヲ質シテ置キタイト思ヒマス、此第一章ニハ極ク簡單ナ事デ
アリマスガ、第一章ノ第三條ニ先程一寸問題ニナリマシタ
化學方法ニ依リ製造スベキ物質、此事ニ就キマシテハ私何
等疑ヒハナカッタノデアリマスガ、先程政府委員ノ御説明ガ
甚ダ深切デ御有リナサルニ拘ラズ、要點ニ觸レテ居ラヌ爲メ
ニ更ニ疑義ヲ生ジタイデアリマス、是ハ各國ノ法ニアル化學
方法ニ依テ製造ルベキ品物——物質ニ特許權ヲ與ヘルト云フ
コトハ可笑シナモノデアアル、併ナガラ今日ノ專賣權ノ主ナ
ルモノハ、最も有力ナル、最も高價ナル專賣權ト云フモノハ、
皆化學方法ナノデアアル、ソレデ化學方法ニ關シテイカスト云
フナラバ、殆ド專賣許可ノ價值ガ無イト云ウテモ宜イ、一番
今日世界デ專賣權ノ大ナル獨逸ノ「バジン」ノ如キハ、日本
ニ分權スルダケデモ數千萬圓デアアル、或ハ例ノ「アルミニ
ム、ナイトリッド」ノ佛蘭西ノ發明品ナドハ、八百萬圓デ賣
居ルト云フヤウナ譯デ、數限リナキ大ナル有力ナル發明ハ、
總テ化學上ノ發見デアリマス、但シ其物質ヲ專賣權ニ取ル
譯ニハイカヌ「酸化シタニウム」ハ誰ニデモ出來ルガ、ドウ云
フ風ニシテソレヲ毒瓦斯ニ使用スルカト云フコト、又ドウシ
タラ安ク出來ルカト云フコトガ問題デアアル「アルミニウム、
ナイトリッド」ハ發見サレタケレドモ、其發見シタ品物ヲ專賣
トスルコトハ出來ナイ、詰リ其方法デアラウト思ヒマス、獨逸
ノ專賣法デハ方法ヲ兼タル物質ノ專賣權トアツテ、斯ウ云フ
方法ニ依テ造リタル物質ト云フ方法ガ附カナケレバナラヌ
ト云フコトト思フ、何レニシテモ是ハ物質ヲ專賣ニ附スベキ
モノデナクシテ、方法ガ必要デアルト云フ意味ニ解釋シテ居
タノデアリマスガ、多分ソレデ宜カラウト思ヒマスガ

利用サレテルヤウニ考ヘマスルノデ、私ノ只今マデノ考ト致

○鈴木久次郎君 更ニ此第八條ニ就テ御尋ネシテ置キタ
イノデアリマスガ、此第八條ニハ最先ノ出願者ニ限リ特許
ス、同日ノ出願ノ場合デ協議ガ調ヘナカッタトキニハ、ソレハ
共ニ許可セズト云フ事デアリマス、サウ致シマス、折角ノ發
明ガ、同時ニ出願致スト、共ニ此權利ヲ獲得スルコトガ出來
ヌト云フコトニナツデシマフノデアリマス、是ハ何等カ救済ノ
方法ハ無イモノデアリマセウカ、既ニ鑛業權ノ如キハ斯ウ云
フ場合ニハ、時間ニ依テ決スルト云フヤウナ事モ規定サレ
テ居ルノデアリマス、若シ斯ウ云フ重大ナル國家有用ノ發明
ニシテ、斯ウ云フ場合ニ共ニ權利ヲ得ラズ消滅シテシマフ

○田中政府委員 御答致シマスガ、此同時ノ出願ト云フ
事ニ就キマシテハ、中々減多ニ無イノデアリマスケレドモ、
往々ニシテアルノデアリマス、此法律ハ同日トナツテ居リマスガ、
ソレカラ只今御引合ニナツタ鑛山ノ法律ノ如キハ、日時ト云
フ時マデヤツテ居ル、所ガドウモ鑛業法實施以來ノ實況ニ依
リマス、其何時何分ト云フコトヲ決メヤウトスルト、殊ニ郵
便ナドデ出スコトヲ許シテ居ルモノニ就テハ、全國各所ノ時
計ガ甚ダ曖昧デ、必ズ書留郵便便局ノ時計ニ依テ時
刻ヲ記入スルコトニ鑛山ノ方ハナツテ居リマスケレドモ、ド
ウモソレデモ苦情ガ起ルノデ、其中ニハ零時零分ナドト云フ
ヤウナ出願者ガ出來テ來ルノデアリマス、零時零分ト零時
一分ト違フトカ違ハヌトカ喧嘩ガ起リマシタリ、甚ダ面倒ニ
ナツテ、實際ニハマア同日ノ出願ハ同時ノ出願ト見ル位ノ
方ガ、却テ實際ニ適シタモノデアハナカラウカ、ソレデマア是ハ
日ヲ基礎トシテ同時ノ出願ト云フコトニ致シマシテ、而シテ
同時ノ出願ノ後始末ニ就テハ、色々ノ方法ガアリマス、或ハ
共有トスル、或ハ抽籤ニ依テ何方カニ決メル、ソレカラ此法
律ノ如ク共ニイケンイト斯ウスルノト、凡ソ考ヘラレル問題
ガ三ツアル、是ハ委員會ニ於テモ種々討議ヲ致シマシタガ結
局共同ト言テモ、ドウモ仕事ノ共同ノ如キハ矢張心ノ合
タ人、或ハ資産上其他ニ於テ信用シ合タ人デナケレバ、共
同スルト云フコトハ出來ヌ、ドウモ一向緣故ノ無イ人ト共同
シテ持ツト云フコトニナルト、共同サセラレタ人ガ甚ダ迷惑ス
ルト云フヤウナコトモ起リ得ルノデ、定ニ困ルノデ、ソコデ抽
籤ト云フ事モ定ニ運ヲ天ニ委スノデ宜イケレドモ、餘リ面白
クナイ、ソレヨリハ雙方イカストスレバ、寧ロ互ニ權利ヲ失フ
コトガ困レバ雙方出來ルナラバ相談デモシテ、何方途ヲ採ル
ガラウ、互ニヤリ損コナツテハ詰ラヌカラ、一緒ニナツテドウカ
シヤウジヤナイカ、ト云フ相談ガ却テ出來ハシナイカ其方ガ
一番宜カラウト云フコトデ決タノデアリマス、是ハマア別ニ
ドウト云フノデアリマセウカ、凡ソ委員會ニ於テ出タモノハ
三ツアツテ、抽籤ニマルカ共同ニスルカ、或ハ此通り共ニイカ
ヌト云フコトニスルカ、結局之ニ決テ御協賛ヲ願フノデア
リマス

○今泉嘉一郎君 此法案ハ政府ニ於テ流石ニ長年
ノ御研究ニ依テ出來タモノデアツテ、殆ド發明社會ノ今日
マデ不便ヲ感ジテ居ルコトヲ悉ク訂正サレテ居ルコト、考ヘ
マスル、又外國ノ獨逸、英吉利邊リノ良イ條項ヲ、定ニ能ク

利用サレテルヤウニ考ヘマスルノデ、私ノ只今マデノ考ト致

第五類第二十五號 特許法改正法律案外四件委員會會議錄

第三回

大正十年二月二十六日

一三

ガ、全ク無條約國ノ關係ノ無イ國デ發明サレタモノモ、隨分利用シヤウト思ヘバ幾ラモ利用ガ出來ルノデアリマス、ソレヲ濫デヤルコトガ出來ルカ出來ヌカ、其意味ヲ承リタイ

○中松政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、此改正案ニ於ケル帝國内ニ於テ公知セラレ云々ハ、帝國内ニ限ル積リデアリマス、明治三十二年ノ特許法ニ於テハ廣ク世界ノ公知セラレタルモノハイカスト云フヤウニ書カレテアリマス、現行法ニ於テハ更メテ帝國内ニ限ラズ、デアリマス、工業特許權ニ關スル條約ノ規定カラ考ヘテモ、特許ト云フモノハ各國皆テ獨立ノモノデアルト云フヤウニ解釋セラレテ居リマス、ソレハ國ノ工業程度ニ應ジテ、發明ノ程度ヲ定メマス、其國々ニ依テ特許ハ別々ニ存在スルモノデアアル、斯様ニ條約ノ上カラ見テモ解釋サレテ居リマス、ソレデ公知セラレ公用セラレテ居ル程度ハ、總テ帝國内ニ於テ見ルノデ、假ニ外國ニ於テ公知セラレテ居ル事柄デアリマシテモ、我が帝國内ニ於テ未ダ何人ニモ知ラレナイモノデアレバ、日本ニ於テ權利ヲ得ルト云フ趣旨デアリマス

○今泉嘉一郎君 サウスルト外國デ既ニ專賣權ヲ得タモノデモ、日本ニ知ラレテ居ラナケレバソレハ公知ノモノデナイ、新規ノモノト看做シテ其專賣權ガ日本内地ノ專賣權ヲ得テ居ラズ、外國タケニ止テ居レバ、日本人ガ更ニ權利ヲ得ルト云フコトニナルト非常ナ關係ヲ生ズルト思ヒマスガ、果シテサウ云フコトニナラバ居リマス

○中松政府委員 只今説明申上ゲタ通りデアリマシテ、假令外國ニ於テ公知ニナタモノデモ、日本ニ於テ未ダ何人モ知ラザルモノナレバ、日本ニ於テハ新規ノモノト見ルノデアリマス、併ナガラ外國ヲ旅行中見テ來テ、自分ノ發明シタモノデモナイノニ、自分ノ發明デアルカノ如ク裝ウテヤルノハ發明シタモノデアリマセヌカラ、一條ノ規定ニ依テ權利ヲ得ルコトハ出來ヌト思ヒマス、併ナガラ自分ノ發明シタモノデ、ソレガ外國ニ於テ既ニ特許ニナタモノデアッタシテモ、自己ノ發明ニ就テ願出タ場合ニ於テ、帝國内ニ於テ未ダ何人モ知ラナイトキハ、特許ヲ與ヘテ然ルベキモノト思ヒマス、ソレデアリマスカラ外國人ガ外國デ既ニ特許ヲ得テ、其特許明細書ガ日本ニ參リマシタ其後ニ、本人ガ出願シテ參リマシテモ、日本ニ明細書ガ特許局ノ圖書館ニ到著シテ、公衆ノ閱覽ニ供セラレテ居リマス、公知ノモノトシテ許サレナイ、サウ云フコトニナリマス發明家ハ一ノ發明ヲ致シタ場合ニハ、總テ國ヘ一度ニ出願シナケレバナラヌト云フ不便ヲ來シマスカラ、條約ニ於テ本國ニ出願シタ時カラ、一年間ニ出願スレバ權利ヲ與ヘタモノト見テヤラウト云フヤウナコトニシテ居ル點カラ考ヘマシテモ、國內ノ二解釋サレテ居ルト云フコトハ明カデアラウト思ヒマス

○今泉嘉一郎君 サウスルト條約國ノ特許明細書ハ皆帝國ニ來テ居ルノデセウカ

○中松政府委員 條約國ノ間ニ於テハ互ニ明細書ヲ交換シテ居リマス、日本ニ於テモ特許公報ヲ發行サレ、各締約國ニ配布シテ居リマス、ソレハ日本ノ圖書館デ整理シテ公衆ノ閱覽ニ供シテ居ル次第デアリマス

○今泉嘉一郎君 條約國ハ宜イガ、今度ハ無條約國デ私ガ見タ物ヲ直ガ自分ノ發明ナリト稱シテ出願シタ場合ニ、是ハ自分ノ發明デアルカ自分ノ發明デナイカ、或ハ他ノモノヲ模倣シタノカ、判定ガ付カヌト思ヒマスガ、ソレハドウシマス

○中松政府委員 ソレハ實際問題トシテ果シテ人ノヤツモノヲ見テ來タノカ、自分ノ考ヘタモノナラト云フコトハ、頗ル困難ナ事ト思ヒマス、併ナガラ事實人ノモノヲ見テ來タノデ、自分ノ發明シタモノデアナイト云フコトガ明ニナリマスレバ、矢張一條違反ノモノトシテ、特許ハ無効ニセラルベキモノト考ヘマス

○野村嘉六君 第十五條ニ特許出願ニ係ル發明ガ、軍事上秘密ヲ要シ、又ハ軍事上若ハ公益上必要ナルモノナルトキハ特許ヲ與ヘズ、特許ヲ受クルノ權利ヲ政府ニ於テ收用シ、又ハ制限ヲ附シテ、特許ヲ與フルコトヲ得トアリマス、其次ニ前項ノ規定ニ依リ、特許ヲ與ヘズ、權利ヲ收用シ、又ハ制限ヲ附シテ特許ヲ與フル場合ニ於テハ、政府ハ相當ノ補償金ヲ支給ストアリマス、固ヨリ斯ウナクテハナラヌト思ヒマス、折角苦心シテ發明シタ特許ヲ政府ニ取上ゲラレタトキニ、政府ガ相當ノ補償金ヲ支給スト云フハ當然ト信ジマス、併シ補償金ノ支給方法ニ就テハ、其次ニ收用及補償金支給ニ關シテハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト、斯ウナラバ居リマス、是モ當然ノコトデアリマスガ、是ハ公益上必要デアアル、個人ニ特許權ヲ與ヘテ、個人タケニ獨占サセテ置イテハイカス、是ハ國家自ラ此特許權ヲ得ナケレバナラヌト云フヤウナ問題ハ、恐ラク大ナル利害關係ノアル問題ト思ヒマス、發明シタ人ハ無上ノ發明ヲシタモノト見テ宜シイ、此時ニ於テ政府ガ之ヲ取上ゲテ、相當ノ金ヲ與ヘル、所ガ其金額ニ就テハ發明シタ方デハ大ナル補償ヲ得タイノハ人情、政府ハ之ニ適當シタ補償ヲ與ヘレバ宜イガ、サウ云フ場合ハ免角問題ガ起ル、其場合ノ救済方法ハ何レノ點ニ定メテアルカ、職務上ニ依テ得タル發明ニ對シテハ、例ヘバ雇主ト雇人トノ間ニ於ケル補償ニ就テハ、裁判所ハ適當ナル方法ニ於テ補償金ヲ定メルト云フ規定ガ第十四條ニ在ル、即チ裁判所ハ前項ノ補償金ヲ定メルニ付之ヲ斟酌スルコトヲ得ト在テ、之ヲ裁判所ニ委ネテ居ルガ、今ノ場合ハ何所ニ規定シテアリマス

アリマス、第百十六條ニ「第十五條第四十條又ハ第五十條ニ規定スル補償金額ノ通知又ハ決定若ハ審決ヲ受ケタル者補償金額ニ付不服アルトキハ其通知又ハ決定若ハ審決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得」トアリマス

○野村嘉六君 今一ツ條文ノ書方デアリマス、第十七條ニ「前三項ニ規定スル代理人ニ非サルモノ、選任若ハ變更又ハ代理權若ハ其ノ變更消滅ハ特許局ニ届出ツル非サレバ之ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得ストアリマス、之ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得ズト云フ文字ハ、ドウ云フ必要ガアッテ御入レニナタノデアリマス、第三者ニ對抗スルコトヲ得ズト云フハ、普通ノ文例ニナラバ居リマス、クレドモ、特許局ニ對抗スルコトヲ得スト云フ其文例ハ、ドウ云フ趣旨デ御入レニナタノデアリマス

○宮内政府委員 是ハ特許ニ關スル出願請求其他ノ手續ヲナス者ハ、特許局ニ關係ヲ有シテ居リマスノデ、ソレデ特許局ニ對抗スルコトヲ規定ニナラバ居リマス

○野村嘉六君 サウ云フ文例ハ何カ外ニ在リマス、民事ニシテモ商事ニシテモ、裁判所ニ對抗スルコトヲ得スト云フヤウナ文例ハ、餘リ見ナイ

○宮内政府委員 現行法ニサウアリマスノデ、ソレヲ取リマシタ

○野村嘉六君 是ハ餘リ見ヨイ法文デハナイガ、修正ナサル御考ハナイノデセウカ

○田中政府委員 意味サイ徹底スレバ、ドウデモ宜シウゴザイマス、唯現行法ニ斯ウアリマスノデ、ソレヲ取ツノデアリマス

○野村嘉六君 第十二條ノ「特許ヲ受クルノ權利ハ之ヲ移轉スルコトヲ得但シ擔保ニ供スルコトヲ得ス」トアリマス、此擔保ニ就テ先程田中次官ト他ノ當局者トノ意見ガ相違シテ居ルノデアリマスガ、擔保ト云フ範圍ヲ御伺シタイ

○田中政府委員 甚ダ疎漏ナ御答ヲ致シマシタ、私實ハ工業特許權ノコトヲ考ヘテ居リマシタ、工業權ハ不動產ト看做スト云フコトガアリマスノデ、サウ云フコトヲ考ヘテ居リマシタノデ、甚ダ失禮ナ答辯ヲ致シマシタガ、實際ノ適用ニ就テハ宮内君ノ言ハレタ質權ト同ジデアリマス

○野村嘉六君 特許權ハ先程宮内君ノ意見ニ依ルト、私權ノヤウデアアルシ、田中次官ノ説明ニ依ルト公權ノヤウデアアル、宮内君ハ更ニ處分ヲ求ムル權利デアルカラ公權デアアル、併シ特許ヲ得タ權利ハ私權デアルト申サレタガ、田中次官ハ總テ公權ナリト云フ御考デアリマス、又公權ニモ非ズ、私權ニモ非サル一種ノ他ノ種類ノ權利ニ屬スト云フ御考デアリマス

○中松政府委員 只今ノ場合ハ第百十六條ニ規定シテ

○田中政府委員 先程宮内君ナリ又私カラ御答致シマシタノハ、特許ヲ得タ以後ノ權利ノコトニ就テノ意味デハナカッタヤウニ記憶致シテ居リマス、特許ヲ受ケルマデノ間ノ權利ノ性質ニ就テノ御疑念ト考ヘタルデアリマス、私ハ其特許ヲ受ケルノ權利ト云フモノヲ、極ク狭ク見マシテ、此法規ノ上カラ之ヲ一ノ公權ニシテ、所謂特許局ニ對シテ特許ヲ受ケルノ權利ト云フ風ニ見テ、全體ノ法文ヲ解釋シテモ差支ナイト考ヘタルデアリマス、宮内君ハ更ニ進シテ其權利ノ外ニ、尙ホ一種ノ私權の意味ヲ加味シテ、特許ヲ受ケル權利ト云フコトモ廣ク見テモ宜イト云フ學說ノ方ヲ取ッテ御説明申上デタヤウニ思ヒマスガ、是ハ六ヶシイ議論ト思ヒマスガ、ドウゾ宜シク御判斷ヲ願ヒマス

○矢野丑乙君 實ハ第二章ニ就テ質問ヲスルノヲ間違ヘテ居リマシタ、第二章ニ行ッテ時分ニドウカ願ヒマス

○委員長(島田俊雄君) 質問ノ御方モアリマセヌカラ、一寸法文ノ體裁ノ事ニ就キマシテ御問スル程デモアリマセヌガ、御問ヒシテ置キタイト思ヒマスソレハ此只今問題ニナッテ居リマシタ、特許ヲ受ケルノ權利ト云フノデアリマス、他ノ多クノ法文ノ私共ノ知ッテ居ル例ニ依リマス、斯様ナ場合ハ「ノ」ノ字ハ使ッテ居ラヌヤウニ思ヒマス、特許ヲ受ケル權利ト云フノデ一向差支ナイヤウニ思ヒマス、是ハ所有權ト云フモノノ所有ノ權ト云フ風ノ、サウ云フ意味ニ當ルノデアリマス、是ハ特許ヲ受ケル權利デ宜カリサウニ思ヒマスガ、色々新シイ文例モアルヤウデアリマスガ、唯タ不注意ニサウ云フモノガ這入ッテ居ルト云フコトデアレバ、簡單ニ修正シテモ宜シ、御訂正ニナッテモ宜イ譯ト思ヒマス、ソレカラ今一ツは外ニモ何處カニアタト思ウテ、搜シテ見マシタガ、今質問ニナッテ居ル箇條ノ中デハ、第十一條ノ所ニ一番終ヒノ所ニ「判決アリタル日後ノ出願」是ハ普通ノ例ニ依リマス、以「ト」云フ字ヲ入レテ「以後」ト書イテアルヤウニ思ヒマスガ、是モ讀方ガ可笑シノデアリマス、以後「ト」云フコトガ普通ノ例デアラウカト思ヒマス、ソレカラ今一ツサウ云フ「ノ」ノ字ノ例デアリマスガ、第十四條ノ三項ノ所ニ矢張「ノ」ノ字ガアリマス、「被用者、法人ノ役員又ハ公務員ハ前項ノ發明ニ付テノ特許ヲ受ケルノ權利」トアル此「付テ」ト云フ「ノ」ノ字モ矢張可笑シイヤウニ思ヒマス、ソレカラ是ハ「ノ」ノ字デアリマセヌ文章ノ事デアリマスガ、モウ一ツ十六條ノ所ニ「帝國内ニ住所ヲモ居ルモノモ有セザル」是モ普通ノ例デア、住所又ハ居所「ト」云フヤウニ書イテアルヤウニ思フノデアリマスガ、是モドウモ新シイ例ノヤウニ思ヒマス、是ハ私ガ一寸此場所ダケニ就テ氣付イタコトデアリマスガ、新シク法律ヲ制定サレル時ニ、餘リ其普通ノ法文、他ノ法律ノ文章ノ中ニ無イヤウナ文字ヲ使ッテ居リマス、私共ハ經驗ガ少アリマステレドモ、隨分

前ノ古イ議員デ花井卓藏ト云フ人ガ居ラル、時ハ「ボチ」打方一ツデモ非常ニヤカマシク言、タモノデアリマス、ソレデサウ云フ意味カラ言ヒマス、今「ノ」ノ字トク、以「ト」云フ字ヲ一ツ入レル、入レナイト云フコトハ、法文ノ體裁トシテハ八ヶマシイコトデアリハセヌカト思ヒマス、極ク皮相ノ觀察ヲシマス、サウ云フコトノ穿鑿ニ止ッテ居ラヌ是ダケデ此全體ノ研究ガ十分ニ行ッテ居ラヌト云フヤウナ證據ニモ、引例サレルモノデナイカト思ヒマス、其意味ニ於キマシテ言ヒマスレバ「擔保ニ供スル」ト云フ「擔保」ト云フ文字デモ、特許局ニ對抗スルコトヲ得ス「ト」云フ書方デモ不完全ノヤウニ思ヒマス、是等ノ文章ノ整理ニ就テ當局ニ於テハ御考ヘナイデアリマセウカ、或ハ單純ニサウ云フコトハ文章ノ問題トシテ見通ガサレルノデアリマセウカ、其點ヲ御聽キシテ置キタイ

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今御尋ノ事ハ決シテ不穿鑿カラ起タ譯デナイノデ、實ハ内部ノ事ヲ遠慮ナク申上デマス、法制局等ニ於テ、最新式ノ立法例トシテ、以後ト云フノハ、以「ト」云フ字ヲ削リノデアリマス、此頃出テ來ルノハ皆サウデアリマス、ドウカ他ノ法律モ御覽ヲ願ヒタイ、「以」ト云フ字ガ入ルノデ意味ニ於テ其日ガハルカトク、入ラヌトカ云フ立法の意味ガアツテ、今後ハサウ云フ形ニナルサウデアリマス、他ノ一面デハ法制局デハ、法文ハ現在ノ通りニシテ其儘デ宜イデナイカ、一直スモノニ就テハ今ノヤウナコトガ出マスガ、其他ノモノニ就テハ現行ノ法文ヲ其儘ニ取ッテノガ澤山アリマス、先程來ノ擔保ノ事ハ矢張現行法ノ通りデアリマス、現行法其儘デ移シテ來タノデアリマス、サウ云フ事ハ「ハイカラ」主義ガ餘リ這入ッテ居ナイ、ソレカラ「住所」モ居ルモノ「ト」云フノモ是モ餘程「ハイカラ」式ダサウデアリマス、近頃斯ウ云フヤウナ風ニスルノハ、外國文ナドニ翻譯スルノニ工合ガ宜イノデアリマセウ、殊ニ外國ノ特許法ナドニ對應シタ法文ニシタノデアリマス、今一ツ「特許ヲ受ケルノ權利」ハ耳障リデアリマスガ、是ハ實ハ特別ノ意味デナイカ知リマセヌガ、獨行法ニモサウ書イデアリマス、其儘ニ移ッテ來テ居リマス

○清瀬一郎君 第五條ノ「特許ヲ受ケルノ權利」ヲ有スル者カ試驗ノ爲メノ發明ヲ前條各號「云々」トアル、其「其ノ者ノ發明」ハ「其ノ發明」デ宜カリサウナモノデアリマスガ如何デス

○中松政府委員 私カラ説明ヲ致シマスガ、是ハ「其ノ者」ト云フコトヲ書加ヘマシタノハ、大ニ意味ガアルノデアリマス、此五條ノ一項ノ趣旨ハ試驗ヲシタ人ダケヲ保護スル「ト」云フ趣旨デアリマス、其試驗ノ爲メニ發明ガ公知ニナリマシタ場合デモ、其試驗ヲシタ人ノ發明ヲ其カラ願ッテ來タトキハ、ソレヲ新規ト看做シテヤラウト云フ趣旨カラ出テ來タノデア

リマス、ソレデ特ニ「其ノ者ノ發明」ト云フコトヲ加ヘテアリマス、六箇月以内ニ其者ガ特許ヲ出願シタトキハ、其前ノ發明ト云フコトニ解シマシテ、試驗ヲシタ人ノ發明ガ公知ニナッタ場合ニ於テモ、試驗ヲシタ人ガ願ッテ來タナラバ、ソレヲ新規ナモノト看做スト云フコトヲ現ハサウト云フ考ヘカラ、斯ウ云フ言葉ヲ使ッテ居リマス

○清瀬一郎君 「其ノ發明」デ其ノ者ト云フ意味ニナリハシマセヌカ

○馬場政府委員 只今中松委員カラ申サレタ通り、其ノ者ト發明ヲ抽象ノ二見ナイ、具體ノ二其人ガシタ……

○清瀬一郎君 私ハ文字ニ就テ意見ハアリマセヌ

○委員長(島田俊雄君) モウ一ツ簡單デアリマスガ、第二十四條ノ第二項ノ所ニ「其ノ期間ノ懈怠カ宥恕スヘキ障礙ニ因ル」云々ト云フコトガアリマス、是ガ第二十五條ノ方ヲ見マス「天災其ノ他避クベカラザル事變」ニ因リ法定ノ期間「云々」ト云フヤウニ、事柄ヲ具體ノ二舉ゲテ居リマス、其天災其ノ他避クベカラザル事變ト云フノハ第二十四條ノ所謂宥恕スヘキ障礙「ト」稱シ、其ノ次ノ條ニ至ッテハ斯ウ云フ具體ノ「舊式ト云ヒマスガ、普通ノ法文ノ書方ガシテアリマスガ、是等ハ何カ意味ガアルノデアリマセウカ、ソレカラ矢張字義ノコトデアリマスガ、二十五條ノ下ニ「懈怠シタル場合ニ於テ」トアリマスガ、ア、云フトキニハ却テ「ハ」字ガ入ッテ宜イヤウナ場合デハナイカト思ヒマスガ、此二點ニ就テ御説明ヲ願ヒマス

○田中政府委員 此二十四條ト二十五條トヲ對比シマスルノニ、二十四條ハ特許局長ガ決定シタ出願期間ヲ懈怠シタトキニ、現狀回復ヲ認メナイ規定デアリマス、二十五條ハ法定ノ期間ヲ懈怠シタコトガ明カナ場合ニ宥恕シテアルコトニナッテ居リマス、ソレデ法定ノ方ハ法律ニ定メテアル期間デアリマスカラ、障礙ニ依ッテ現狀回復ヲ認メルニ就テハ、特ニ重大ナル事由ノ場合ニ限ッテ認メルト云フ考ヘカラ、此「天災其ノ他避クベカラザル事變」ト云フヤウナ全ク不可抗力ノ原因ニ基イタトキニ於テ、認メルト云フ趣旨デアリマシテ、二十四條ハ指定期間ノ場合デアリマスカラ、幾ラカ輕ク見テ、必ズシモ天災其他避クベカラザル事變ト云フガ如キ、サウ云フ非常ナ重大ナル事由ノミニ限ラズ、相當宥恕スベキ事由ト認メルトキハ、其懈怠ヲ宥恕シテ宜カラウト云フ趣旨デ書分ケタ譯デアリマス、ソレカラ二十五條ノ方ニ「場合ニ於テハ」ト「ハ」ノ字ガアリマセヌノハ、別ニ理由ハアリマセヌガ、唯ダ法制局ノ方ノ用例上、或ル場合ニハ「ハ」ト書キ、或ル場合ニハ書カヌト云フコトハ、凡ソ決マッテ居ルヤウニ考ヘ

ラレマス、ハト書イテ明瞭デアレバ書イデモ一向差支ナイト思ヒマス

スカラ、ダウン御勉強願ヒマス
午後四時三十八分散會

○委員長(島田俊雄君) 第一章ニ就テハ御質問ノ通告モゴザイマセヌカラ、是デ終リタ譯デアリマス、ソコデ御諮リシタイノガアリマスガ、此法案ハ屢々申シマシタ如ク、非常ニ浩瀚デアリマスルシ、審査スルニハ立案者ガ長イ日時ヲ費シ、同ジ人ノ手バカリデナク、多ク人ノ手ヲ經テ確定サレル場合ニ立至ラノデアリマスカラ、詳細ニ一々論議シテハ容易ナコトデナイト考ヘマス、隨テ會期切迫ノ事情モ考ヘマシテ、審査ヲ急グ次第デアリマスガ、委員長トシテハ成ベク早く審査ヲ終リタイ希望ヲ持テ居ルノデアリマス、今マデアリマシタ經驗ニ依テ推シテ行クト、先キヘ行デモト早く出來ルカ知レマセヌガ、此場合皆サンニ於テ審査ノ方法ニ就テ、何か御考デアリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス、今マデ通りニシテヤリマスガ、或ハモト早キアル方法ガ——寧ロ早イ方法ガアレバ其方法ニ依リマシタイノデスガ如何デスカ

○今泉嘉一郎君 動議ガアリマス、七章一括シテ議題ニ供シタイト思ヒマス

○野村嘉六君 特許法サヘヤレバ、後トハ順序能ク行クダラウト思ヒマスカラ、委員長ガ御心配ノヤウナコトハナカラウト思ヒマス

○委員長(島田俊雄君) 今マデ通りデアリマスガ、(今マデ通りト呼フ者アリ)

○鶴澤宇八君 此質問ヲ打切ルト、後デ差支ヘル場合ガ起ラウト思ヒマスガ、先キマデ審議ガ一時濟ンダ後ニモ、總體ノ質問ヲ豫メ保留サレテハ如何デアリマスガ

○委員長(島田俊雄君) ソレハ無論ヤリマス、一章ヅ、進ンデ參リマシテ、一應濟マシテ全體ニ就テ質問ノ起ル場合ニハ許シマス、四法案ヲズツト終リタ場合ニモ、亦全體ニ就テ許シマス、修正スル場合ニハ矢張速記ヲ止メルト云フヤウナコトハヤラナケレバナラヌコトモ起ルノデアリマスカラ、ソレハ皆含ンデ居ル譯デアリマス、唯ダ此ヤリ方デ行クト、非常ニ手間ガ掛ルト思ヒマスカラ、御諮リスルノデアリマス

○北井波治君 進行ノ事デスガ、本法ハ一章ヅ、ニナッテ居リマスガ、此先ニ一章三章トヤッテ行キタイト云フ委員長ノ御方針デハナイト思ヒマス、七章マデアリマスカラ、成程清瀬君ノヤウナ熱心ナ方デアレハ、一章ヅ、ヤル必要ガアルト思ヒマスガ、私共ハ數箇條シカ質問ガナイノデアリマスカラ、七ツニ分ケナクテモ、委員長ノ適宜ニ任セルコトニシタイト思ヒマス

○委員長(島田俊雄君) サウ云フコトニ御願ヒ致シマス、サウスルト今日ハ是ア散會致シマス、次ハ月曜日ノ午前十一時ヨリ開キマス、此日ハ午後ニ涉ラデ矢張ヤリタイト思ヒマ